

市立小学校の児童数・学級数の将来推計及び学校施設の状況について

1 趣旨

久留米市立小学校小規模化対応方針に基づき、市立小学校の児童数・学級数の将来推計及び学校施設の状況（築年数）等を公表するものです。

2 公表目的等

(1) 対応方針における位置付け

市教育委員会では、令和5年2月に、久留米市通学区域審議会からの答申を受けて、対応方針の改正を行い「学校統合を進める上で保護者や地域の連携・協力が重要であり、統合を円滑に進めていくためにも、児童数の推計や学校施設の状況などについて、広く市民との情報共有に努める」ことを新たに定めました。

(2) 公表目的

さらに進むことが見込まれる小学校の小規模化や学校施設の老朽化の課題について、市民の方々と認識を共有し、小学校の統合に関する共通理解を図ることを目的として、令和5年度以降、毎年度継続して公表するものです。

3 公表内容

[資料1] 久留米市全体の児童数の状況

[資料2] 小学校統合の検討対象校と検討対象エリア

[資料3] 小学校統合の検討優先順位

[資料4] 久留米市立小学校 学校規模・校舎最長築年数一覧表

[資料5] 学校規模・校舎最長築年数別マップ

[資料6] 小学校別の児童数・学級数の推移及び将来推計

[参 考] 久留米市立小学校小規模化対応方針の概要

4 公表内容の留意点

(1) 児童数

- ① 令和8年5月1日時点の各小学校の児童数及び未就学児（0～5歳）の人口をもとに、向こう6年間（令和9～14年度）の推計を算定しています。
- ② 算出に当たっては、過去5年間（令和4～8年度）における学年が上がった時点の平均増減率を乗じて算定しています。

(2) 学級数

- ① 久留米市教育委員会では、小学校小規模化への対応は児童が在籍する学級の区分にかかわらず、全ての児童に関わるものであると考えています。そのうえで、資料の作成上、国の法令等に照らして特別支援学級を含まずに記載している箇所がございますので、あらかじめご了承ください。
- ② 国が定める公立義務教育諸学校の学級編成及び教職員定数の標準に関する法律の規定等に基づき、学級編成の基準は次のとおりとされています。

同学年の児童で編制する学級（通常学級）

35人（令和8年度以降）で1学級を編成します。この人数に特別支援学級在籍者は含まれません。

特別支援学級

学年を問わず、障害の区分ごとに児童8人で1学級を編制します。

二の学年の児童で編制する学級（複式学級）

通常学級において、となり合う2つの学年の児童数の合計が16人以下の場合（第1学年を含む場合は8人以下）は、1つの学級として編制します。

(3) 学校施設の状況

資料4の「築年数」は、学校内に複数の建物がある中で、最も古い校舎の築年数（令和8年度時点）を表示します。

5 今後の取組について

市教育委員会では、今後の具体的な小学校統合の取組について、公表内容をもとに検討を進めてまいります。

【参考】学校規模（通常学級）

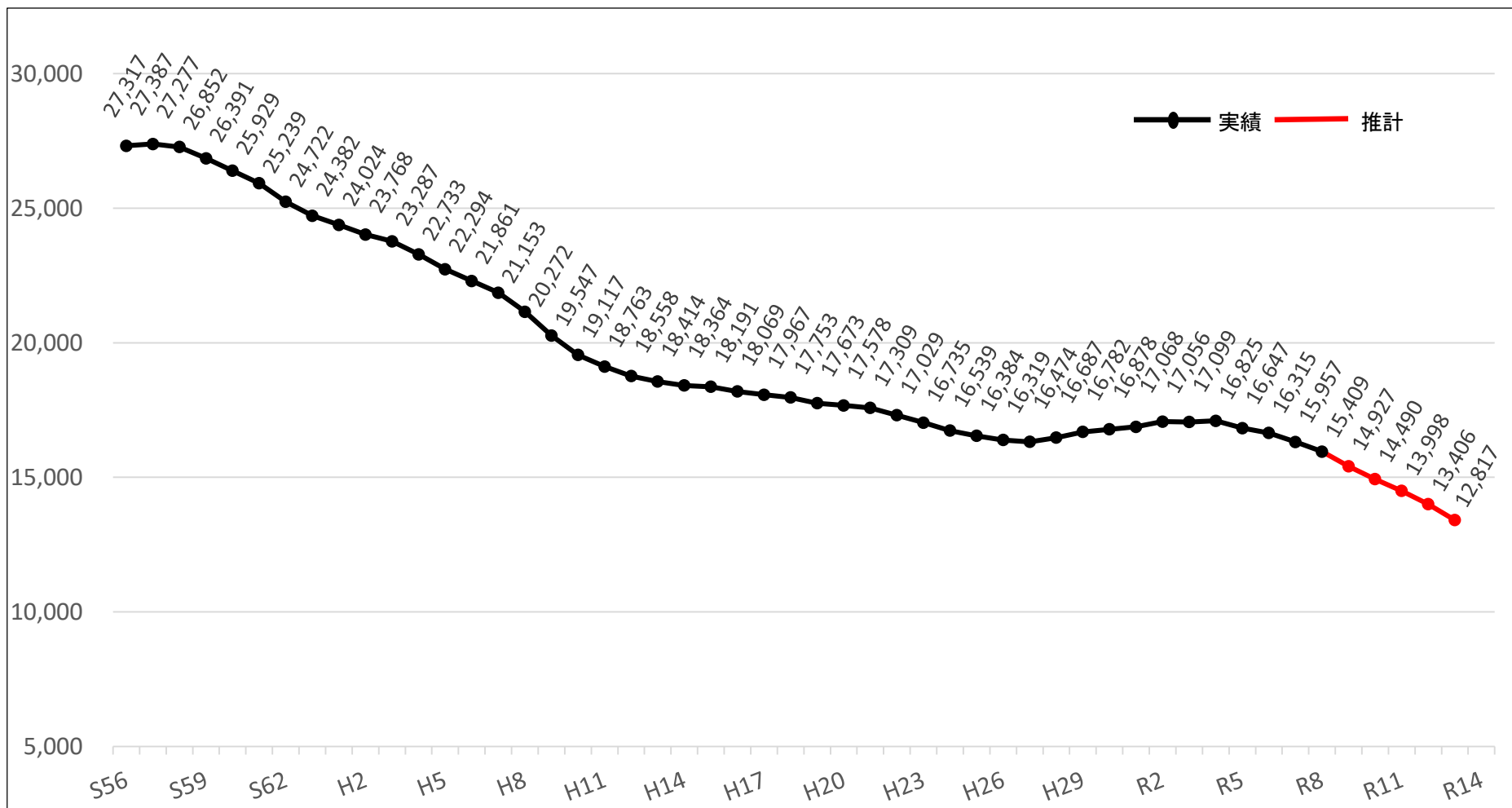
過大規模校	31学級以上
大規模校	30～19学級
標準規模校	18～12学級
小規模校	11～6学級
過小規模校	5学級以下（複式学級が生じる）

久留米市全体の児童数の状況

資料Ⅰ

① 小学校児童数の推移及び将来推計（昭和50年度～令和14年度） *特別支援学級を含みます。

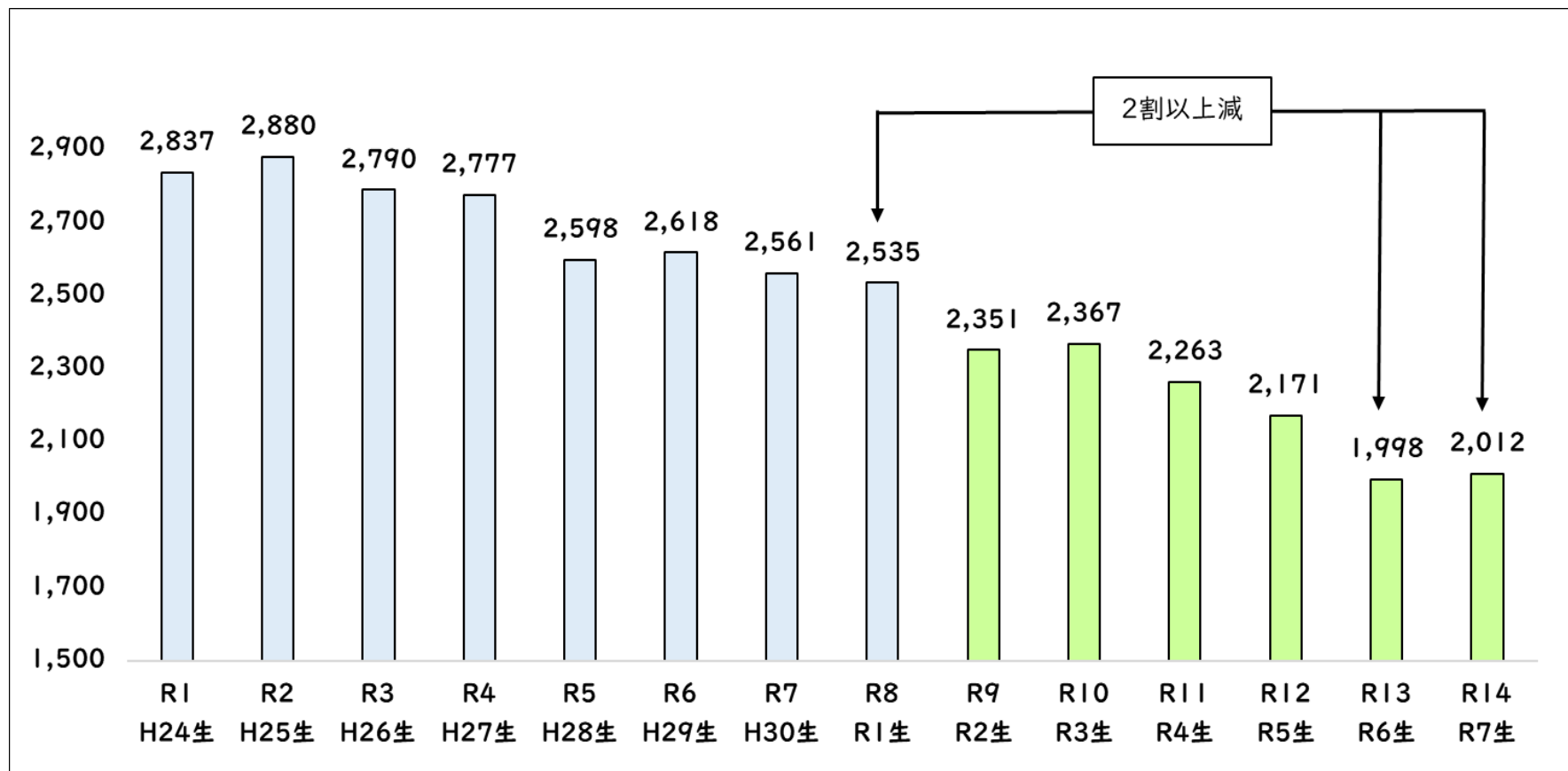
市立小学校の児童数は、昭和57年度の27,387人をピークに減少しています。平成28年度から令和4年度にかけては、微増傾向となっていました、令和5年度から減少に転じており、今後もその状況が続く見込みです。



* 児童数には特別支援学級を含みます。

② 久留米市立小学校入学(予定)者数の推移(令和元年度～令和14年度)

市立小学校の入学者数は、令和2年度以降減少しています。特に、5年後の令和13年度(令和6年度出生)、6年後の令和14年度(令和7年度出生)の入学予定者は2,000人前後であり、今年度よりも2割以上の減少となっています。



*R8年度までは実数。R9年度以降は、住民基本台帳上の人数(各年度5月1日時点)です。

今後の小学校統合の検討対象校と検討対象エリア

① 小学校統合の検討対象校

子どもたちによりよい教育環境と安全安心な教育環境を計画的に提供するため、小規模化対応方針に基づき「小規模化の状況」「老朽化の状況」を踏まえて、全市的な小学校統合の検討を進めています。検討対象校は、過小規模校5校と小規模校10校の計15校となる見込みです。

R14年度		築A S45以前 築62年以上 (19校)	築B S46～55 築52～61年 (10校)	築C S56～H2 築42～51年 (2校)	築D H3～12 築32～41年 (1校)	築E H13～22 築22～31年 (2校)	築F H22～ 築21年以下 (3校)
過大規模校 31学級以上		老朽化					
大規模校 19～30学級		南・63年 西国分・65年 荒木・65年					
標準規模校 12～18学級		東国分・67年 合川・65年 金丸・71年 三潞・62年 高良内・64年 御井・64年 南薫・67年 山川・65年 安武・73年 上津・64年	津福・55年 犬塚・61年 大善寺・56年 宮ノ陣・57年 城島・61年		鳥飼・32年	北野・30年	日吉・16年 篠山・15年
小規模化 [統合の検討対象校]							
小規模校	7～11学級		長門石・55年				京町・14年
	6学級	莊島・79年 竹野・66年 大城・65年 小森野・65年 西牟田・63年	田主丸・59年	水縄・48年 水分・49年			
過小規模校 1～5学級 (複式編制年度)		金島・64年 (R10)	船越・54年 (R14) 川会・56年 (R14) 弓削・55年 (R14)			柴刈・28年 (R10)	

* 表中の築年数は、令和14年度時点で校内に複数ある校舎のうち、最古の建物の築年数を示しています。

* 令和14年度に予定している義務教育学校の設置に伴う屏水中学校区の小学校の統合再編を反映しています。

② 小学校統合の検討対象エリア

小規模化対応方針に基づき、「検討対象校の区域」と「検討対象校と進学する中学校が同じ小学校の区域」を合わせた検討対象エリアごとに小学校統合の検討を進めています。

検討対象 エリア		検討対象エリア内の小学校
江南エリア		1 ゴシックは、令和8年度の住民基本台帳に基づいて推計される令和14年度時点の小規模校 ゴシックは、複式学級の編制が見込まれる過少規模校 2 ()は、令和14年度時点で、校内に複数ある校舎の築年数の範囲
城南 櫛原 エリア	城南	小森野小 （築65年～築27年） 長門石小 （築55年～築45年） 京町小 （築14年～築12年） 日吉小（築16年） 篠山小（築15年～築14年）
	櫛原	小森野小 （築65年～築27年） 南薫小（築67～築26年） 日吉小（築16年）
屏水エリア		山本小 （築60年～築54年） 草野小 （築57年～築54年） 善導寺小（築54年～築46年） 令和14年度 義務教育学校設置予定
田主丸エリア		船越小 （築54年～築31年） 水縄小 （築48年～築26年） 田主丸小 （築59年～築44年） 竹野小 （築66年～築47年） 川会小 （築56年～築24年） 水分小 （築49年） 柴刈小 （築28年）
北野エリア		大城小 （築65年～築39年） 金島小 （築64年～築20年） 弓削小 （築55年～築20年） 北野小（築30年）
城島エリア		江上小 （築62年～築18年） 城島小 （築61年～築38年） 青木小 （築55年～築25年） 令和9年度統合
三潕エリア		西牟田小 （築63年～築17年） 犬塚小（築61年～築17年） 三潕小（築62年～築12年）

* 小森野小は、進学する中学校が城南中と櫛原中であるため、2つの中学校区を1つの検討対象エリアとして設定

* 屋内運動場、給食室、倉庫棟を含まない

小学校統合の検討優先順位

① 複式学級の編制見込み

令和14年度までに、次の5校で複式学級の編制が見込まれます。

複式学級編制の見込年度		R9	R10	R11	R12	R13	R14
田主丸エリア	柴刈小						
	船越小						
	川会小						
北野エリア	金島小						
	弓削小						

留意事項 ① エリア別に編制時期の見込み（網かけの年度）が早い順に記載しています。

② 複式学級の編制が見込まれる年度を踏まえて、統合の決定時期や実施時期等を検討していきます。

② 小規模化対応方針に基づく検討の優先順位

全市的な小学校の統合に取り組んでいく中、複式学級の編制が見込まれる時期や老朽化の状況を踏まえ、次のとおり検討していきます。

① 令和10年度に複式学級の編制が見込まれる「田主丸エリアの柴刈小学校」「北野エリアの金島小学校」について、最優先で検討していきます。

② 小規模校で築年数が最も長く、老朽校舎等の割合も高い「江南エリアの荘島小学校」について、最優先で検討していきます。

③ 令和14年度から複式学級の編制が見込まれる「田主丸エリアの船越小学校・川会小学校」と「北野エリアの弓削小学校」について、優先して検討していきます。

久留米市立小学校 学校規模・校舎最長築年数 一覧表

学校規模				校舎最長築年数		
学校番号	学校名 (計 42 校)	令和8年度		令和14年度(推計)		最古の校舎※1
		通常学級数	児童数※2	通常学級数	児童数※2	建築年度 築年数 図中記号
01	西 国 分 小	32	クラス 989 人	23	クラス 712 人	S42 築59年 ◎
02	莊 島 小	6	クラス 128 人	6	クラス 117 人	S28 築73年 ◎
03	日 吉 小	17	クラス 477 人	16	クラス 440 人	H28 築10年
04	篠 山 小	17	クラス 465 人	13	クラス 358 人	H29 築09年
05	京 町 小	12	クラス 247 人	7	クラス 153 人	H30 築08年
06	南 薫 小	17	クラス 447 人	13	クラス 357 人	S40 築61年 ◎
07	鳥 飼 小	18	クラス 492 人	15	クラス 412 人	H12 築26年
08	長 門 石 小	12	クラス 276 人	7	クラス 185 人	S52 築49年 ○
09	小 森 野 小	12	クラス 274 人	6	クラス 168 人	S42 築59年 ◎
10	金 丸 小	19	クラス 552 人	17	クラス 466 人	S36 築65年 ◎
11	東 国 分 小	18	クラス 546 人	17	クラス 477 人	S40 築61年 ◎
12	御 井 小	16	クラス 444 人	12	クラス 343 人	S43 築58年 ◎
13	南 小	32	クラス 982 人	23	クラス 747 人	S44 築57年 ◎
14	合 川 小	19	クラス 609 人	17	クラス 457 人	S42 築59年 ◎
15	山 川 小	13	クラス 362 人	12	クラス 287 人	S42 築59年 ◎
16	上 津 小	24	クラス 661 人	18	クラス 554 人	S43 築58年 ◎
17	高 良 内 小	18	クラス 561 人	18	クラス 521 人	S43 築58年 ◎
18	宮ノ陣小	13	クラス 387 人	12	クラス 305 人	S50 築51年 ○
19	山 本 小	6	クラス 122 人	R14に義務教育学校を設置予定		S47 築54年 ○
20	草 野 小	6	クラス 60 人	R14に義務教育学校を設置予定		S50 築51年 ○
21	安 武 小	12	クラス 293 人	12	クラス 283 人	S34 築67年 ◎
22	荒 木 小	24	クラス 757 人	21	クラス 644 人	S42 築59年 ◎
23	大 善 寺 小	15	クラス 403 人	17	クラス 490 人	S51 築50年 ○
24	善 導 寺 小	16	クラス 477 人	R14に義務教育学校を設置予定		S53 築48年 ○
27	津 福 小	18	クラス 520 人	14	クラス 418 人	S52 築49年 ○
28	船 越 小	6	クラス 76 人	5	クラス 66 人	S53 築48年 ○
29	水 縄 小	7	クラス 154 人	6	クラス 115 人	S59 築42年
30	田 主 丸 小	11	クラス 273 人	6	クラス 144 人	S48 築53年 ○
31	水 分 小	6	クラス 104 人	6	クラス 71 人	S58 築43年
32	竹 野 小	6	クラス 86 人	6	クラス 68 人	S41 築60年 ◎
33	川 会 小	6	クラス 93 人	5	クラス 62 人	S51 築50年 ○
34	柴 刈 小	6	クラス 63 人	5	クラス 47 人	H16 築22年
35	弓 削 小	6	クラス 109 人	5	クラス 66 人	S52 築49年 ○
36	北 野 小	17	クラス 464 人	12	クラス 313 人	H14 築24年
37	大 城 小	6	クラス 186 人	6	クラス 131 人	S42 築59年 ◎
38	金 島 小	6	クラス 72 人	5	クラス 46 人	S43 築58年 ◎
39	城 島 小	11	クラス 257 人	12	クラス 251 人	S46 築55年 ○
41	江 上 小	6	クラス 70 人	R9に城島小と統合		S45 築56年 ◎
42	青 木 小	6	クラス 58 人	R9に城島小と統合		S52 築49年 ○
44	西 牟 田 小	12	クラス 329 人	6	クラス 136 人	S44 築57年 ◎
45	犬 塚 小	13	クラス 380 人	13	クラス 338 人	S46 築55年 ○
46	三 瀧 小	17	クラス 462 人	13	クラス 381 人	S45 築56年 ◎
(仮称) 屏水義務教育学校 (前期課程)		一	クラス	17	クラス 498 人	S58 築43年
		計 42校		計 38校		

【凡例】



標準規模校以上：通常学級数 12学級以上

～S45年度以前の校舎を保有 ◎



小規模校：通常学級数 6～11学級

S46～S55年度の校舎を保有 ○



過小規模校：通常学級数 5学級以下*

(* 複式学級が発生している学校)

(校舎最長築年数は令和8年度末時点)

(参考) S46年…十勝沖地震(S43年)を踏まえて、構造基準が改正された。

S56年…これまでの耐震基準が見直され、新耐震基準に改正された。

(特記) ※1 本表の「最古の校舎」は、各学校に複数ある校舎のうち、最も古い建物の築年数を表しています。

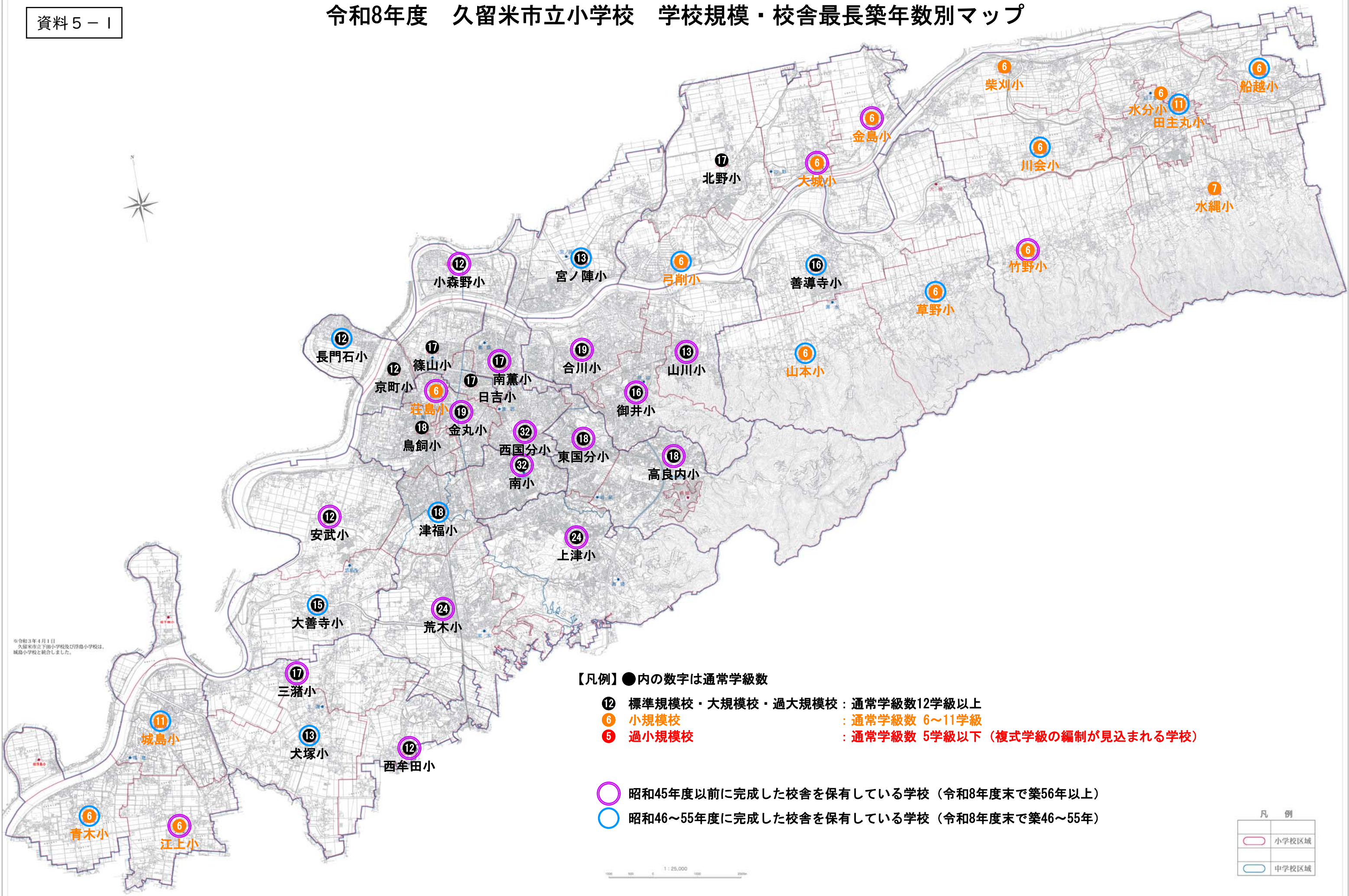
また、「最古の校舎」には、「屋内運動場(体育館)」「給食室」「倉庫などの小規模施設」を含みません。

なお、市立学校の校舎は「耐震診断」を実施済みであり、「耐震改修工事」を完了しています。

※2 本表の学校規模に対する学級数・児童数は「通常学級数及びその児童数」を表しています。

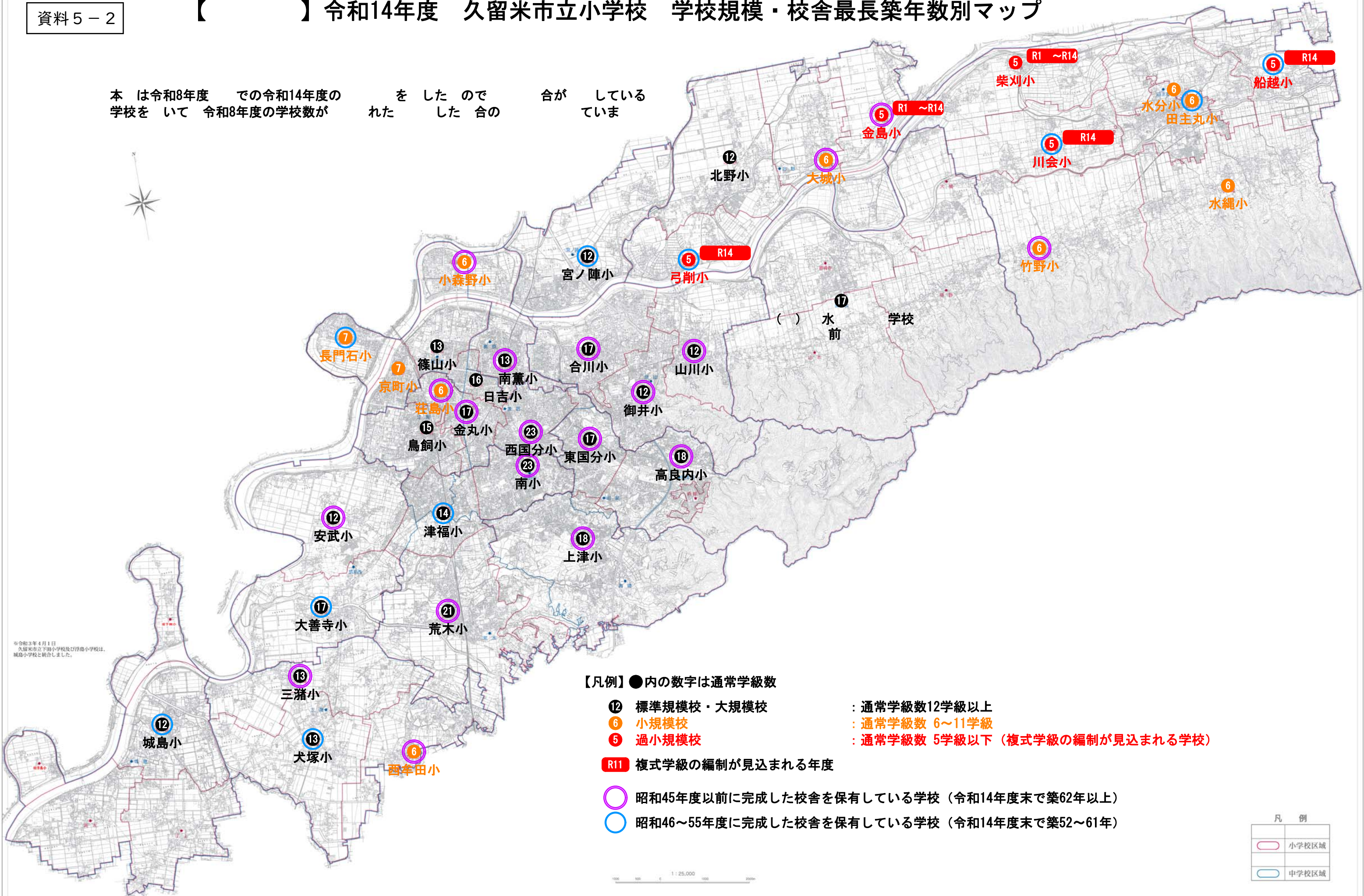
※3 令和14年度に設置予定の(仮称)屏水義務教育学校は、前期課程(小学校)の通常学級数、児童数を表しています。

令和8年度 久留米市立小学校 学校規模・校舎最長築年数別マップ



【 久留米市立小学校 学校規模・校舎最長築年数別マップ】

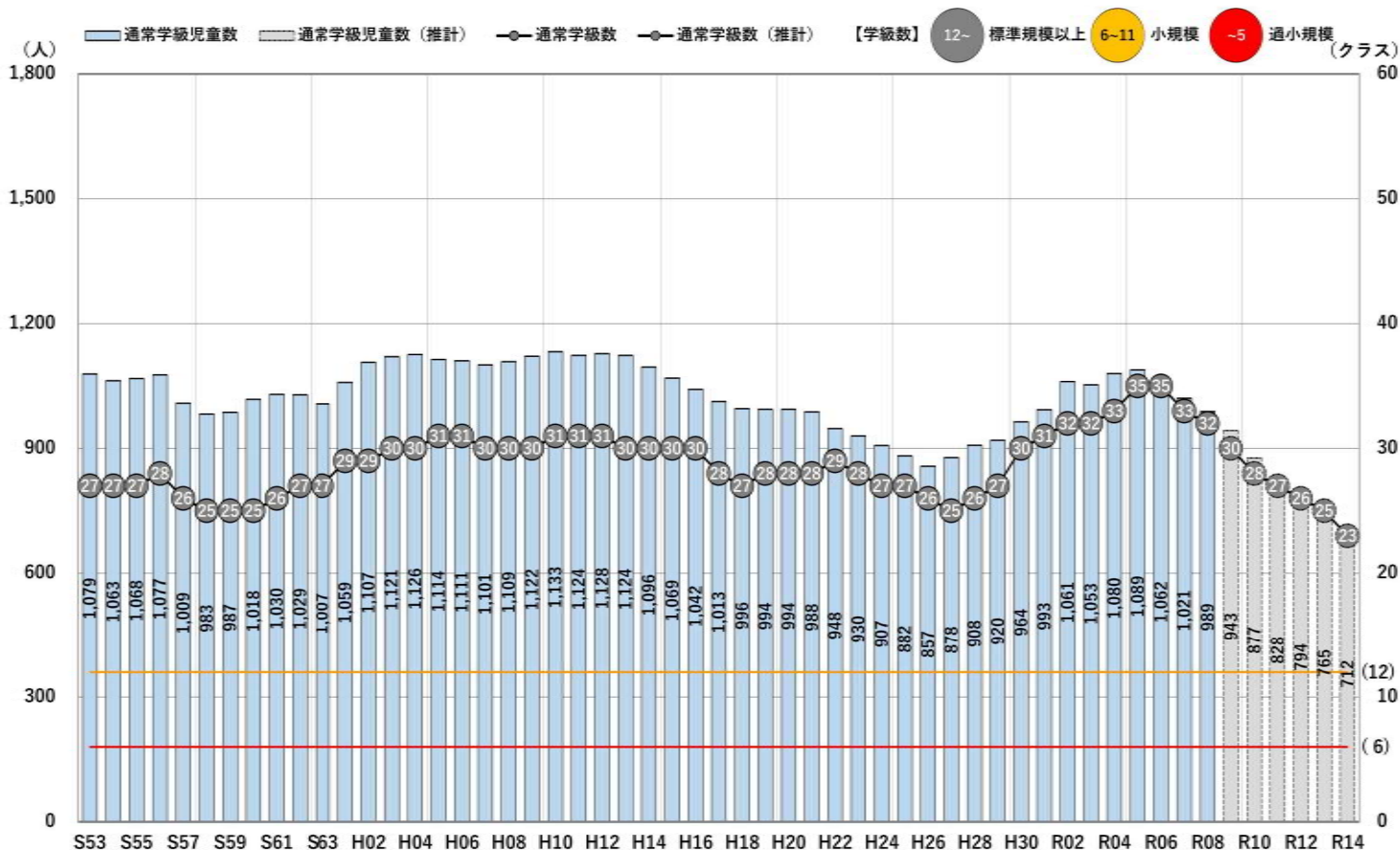
本マップは令和8年度までの令和14年度の学校を以て令和8年度の学校数が示されています。令和8年度に廃校した学校は、令和14年度の学校数に合算されています。



令和3年4月1日
久留米市立下田小学校及び津島小学校は、
城島小学校と統合しました。

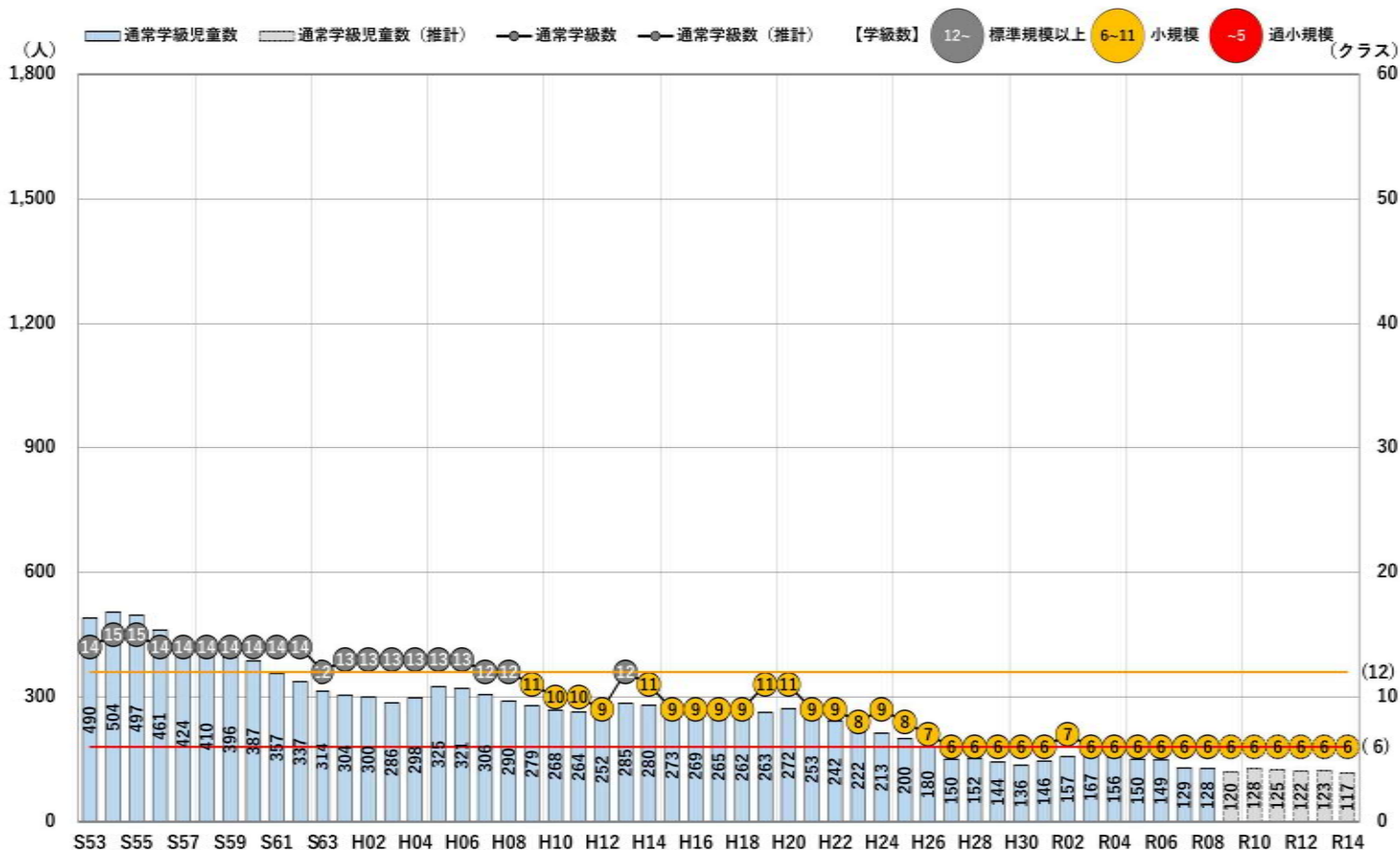
1 西国分小学校

校舎最長築年数：築 59 年



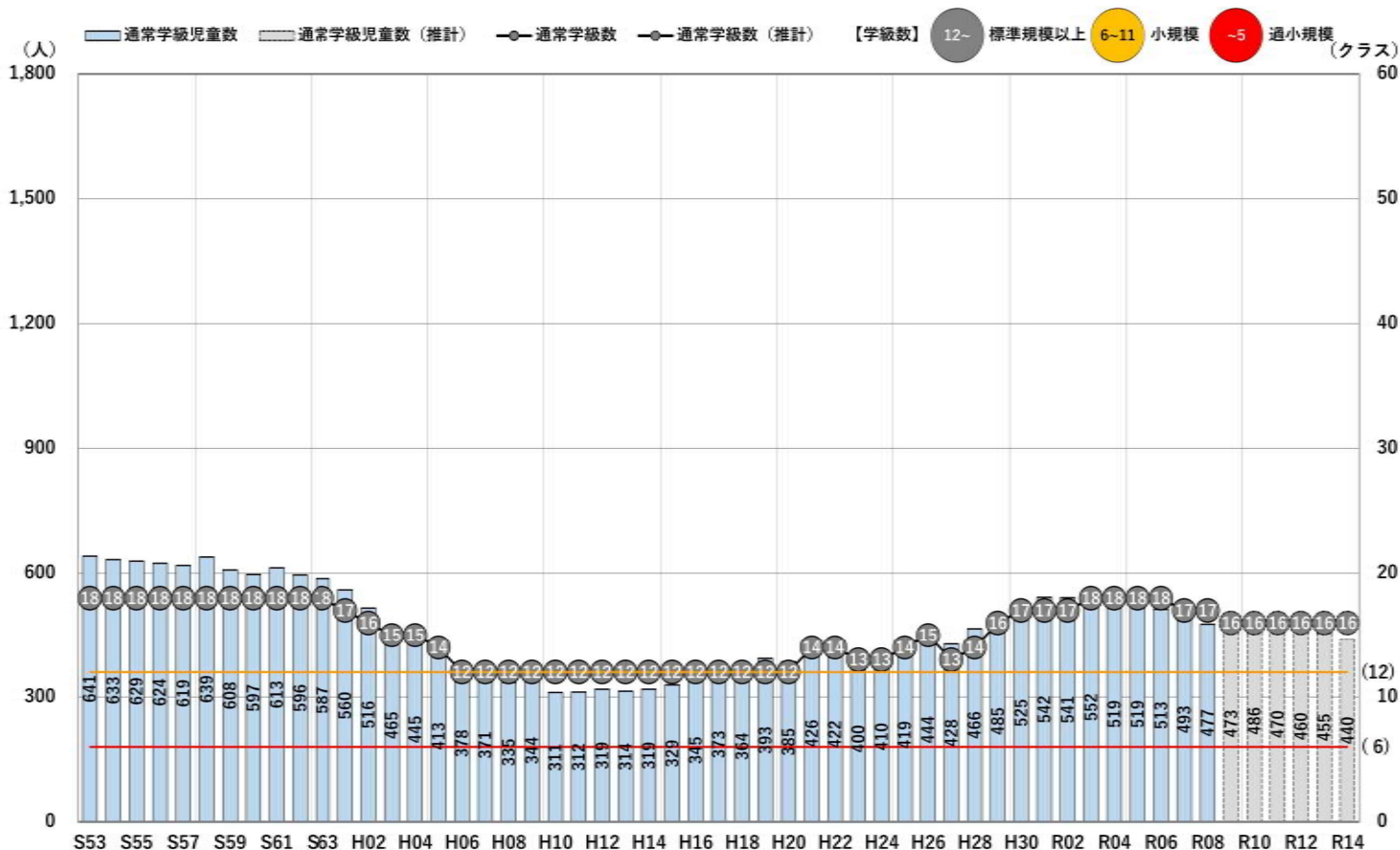
2 荘島小学校

校舎最長築年数：築 73 年



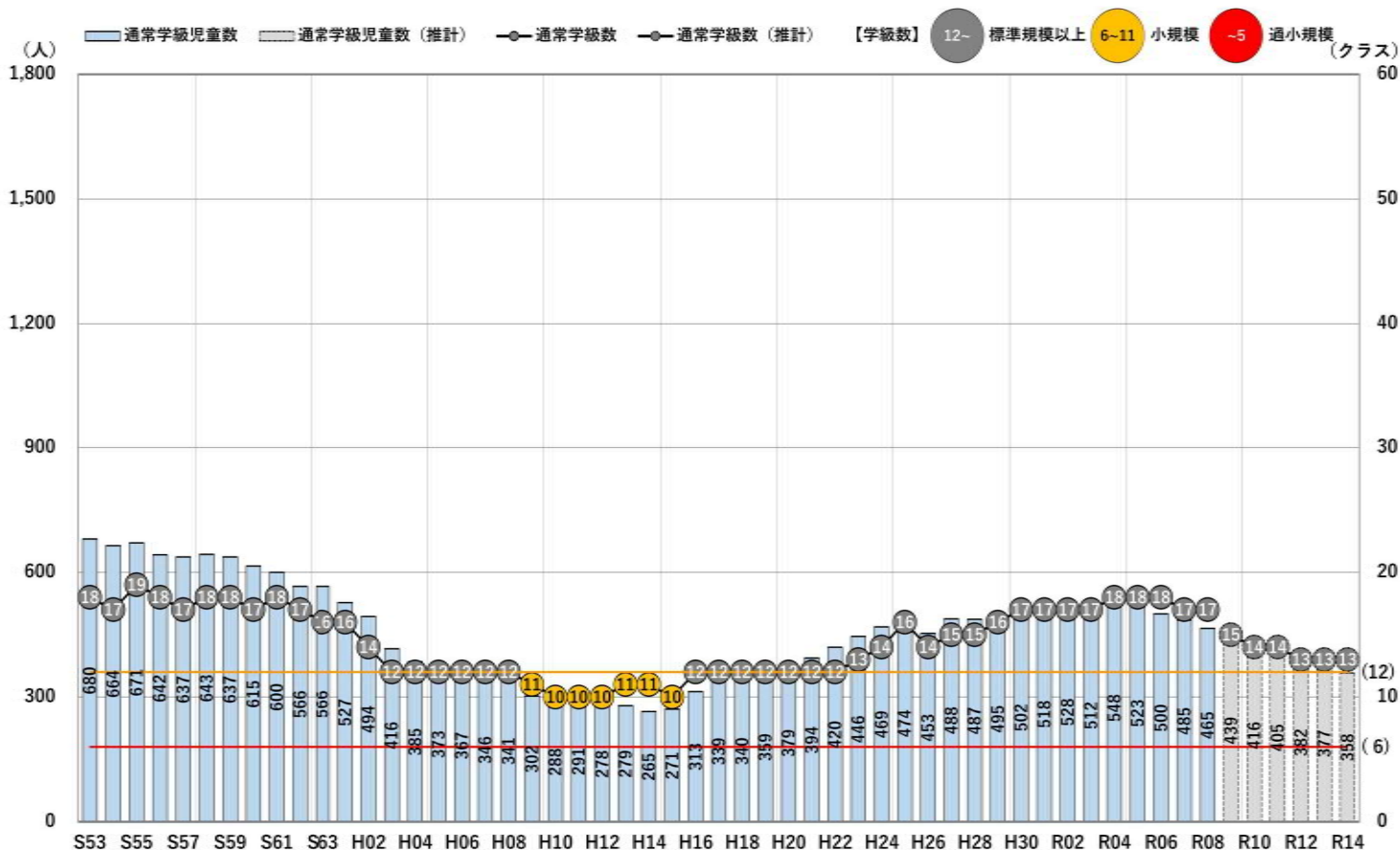
3 日吉小学校

校舎最長築年数：築 10 年



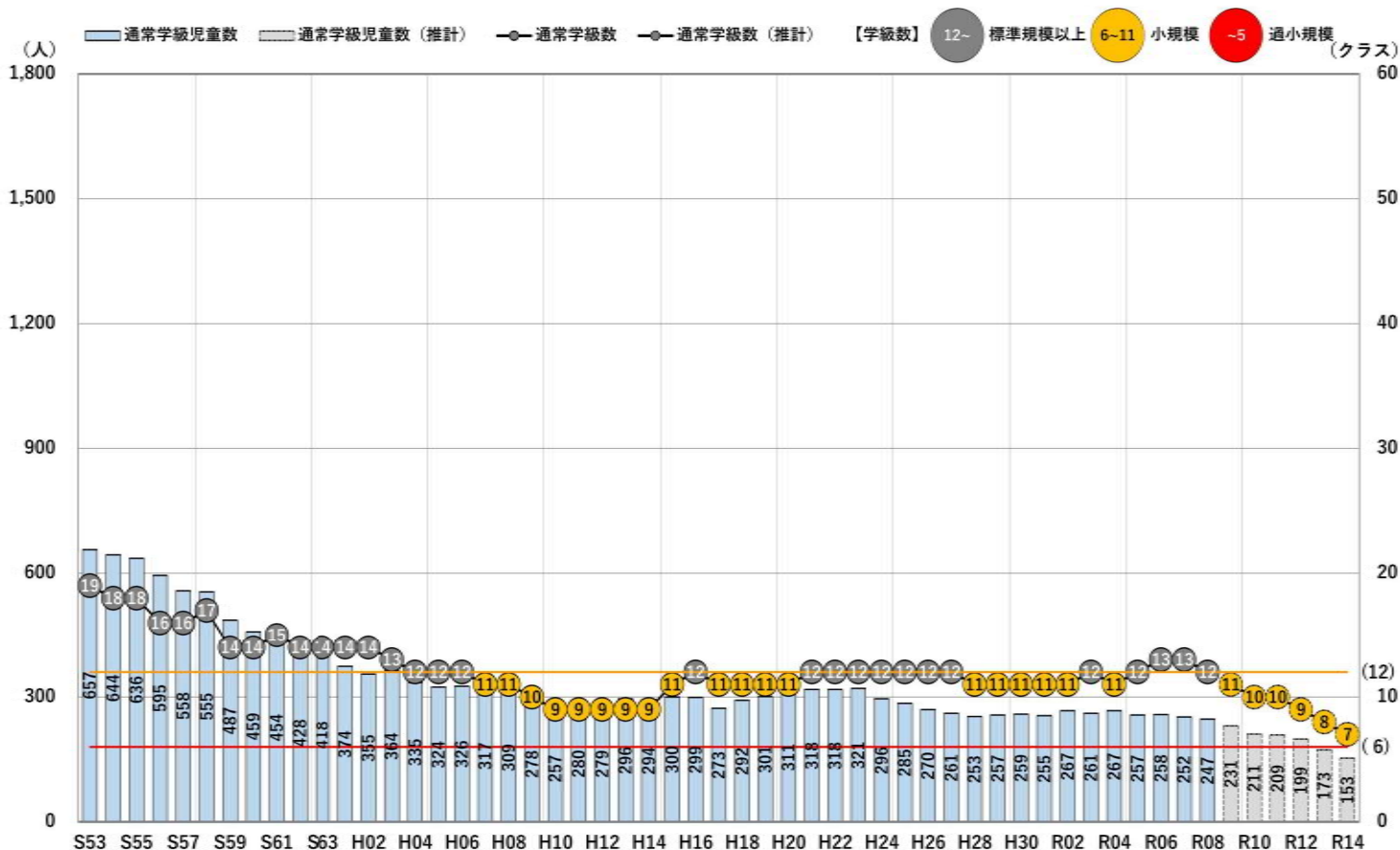
4 篠山小学校

校舎最長築年数：築 09 年



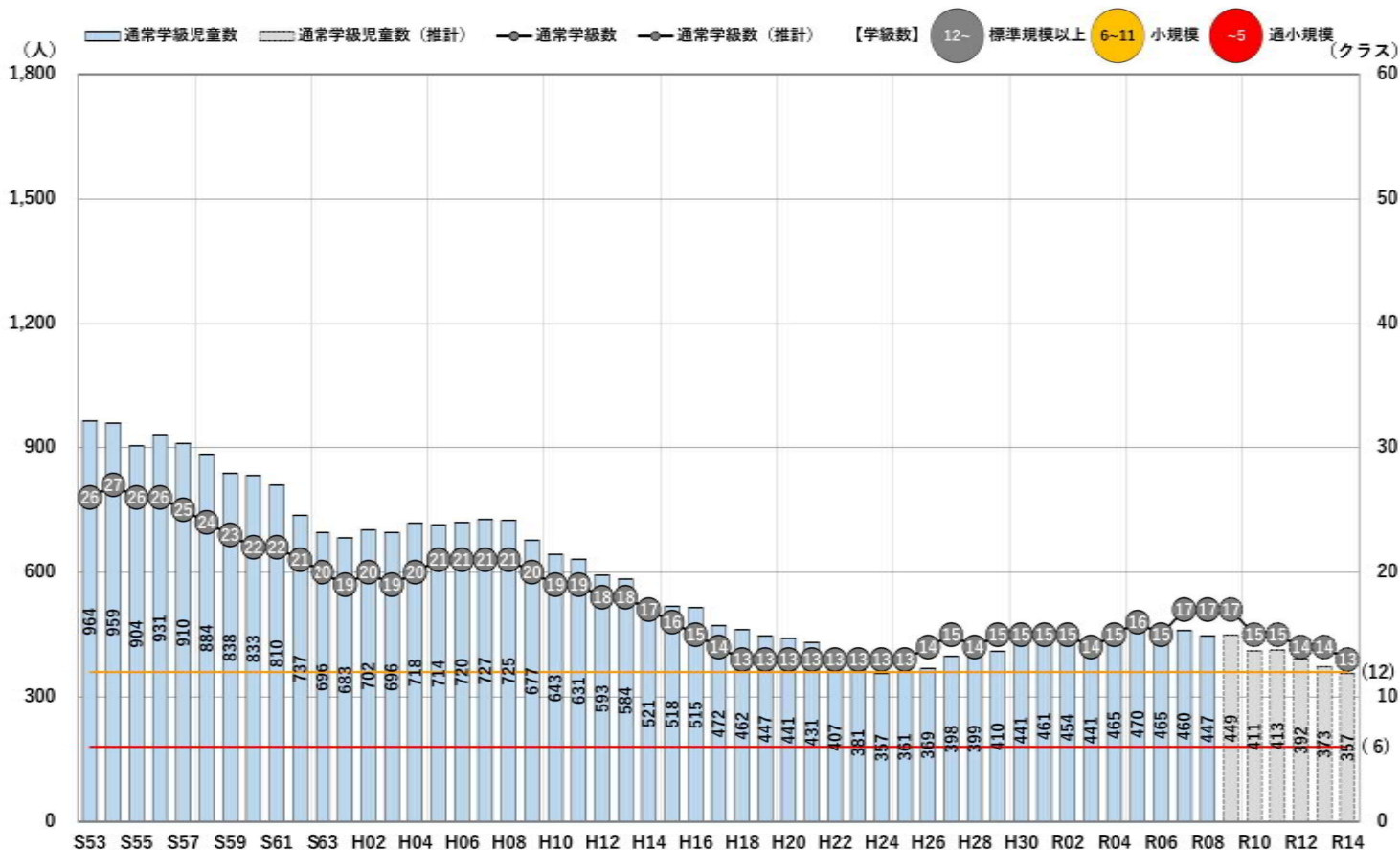
5 京町小学校

校舎最長築年数：築 08 年



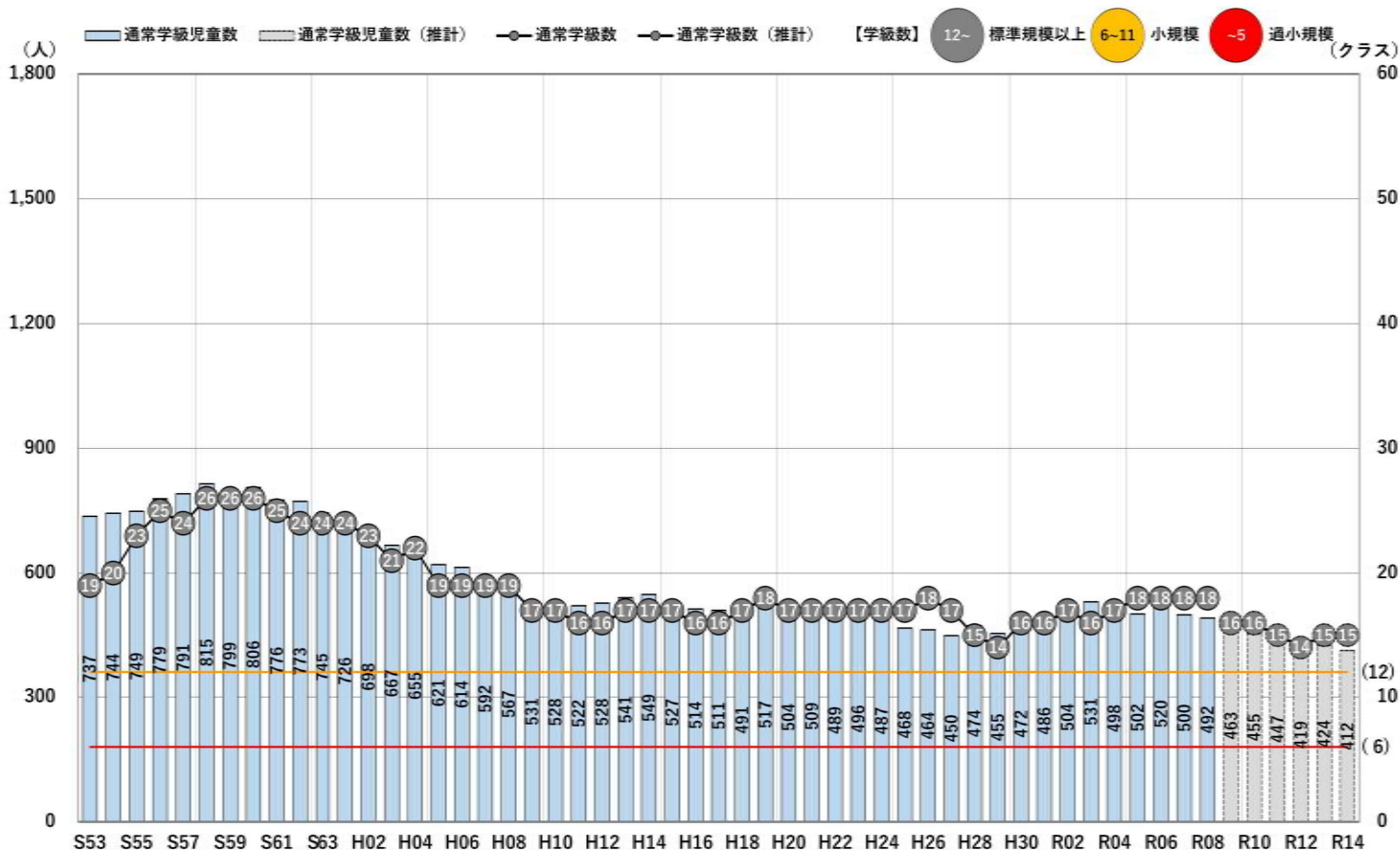
6 南薫小学校

校舎最長築年数：築 61 年



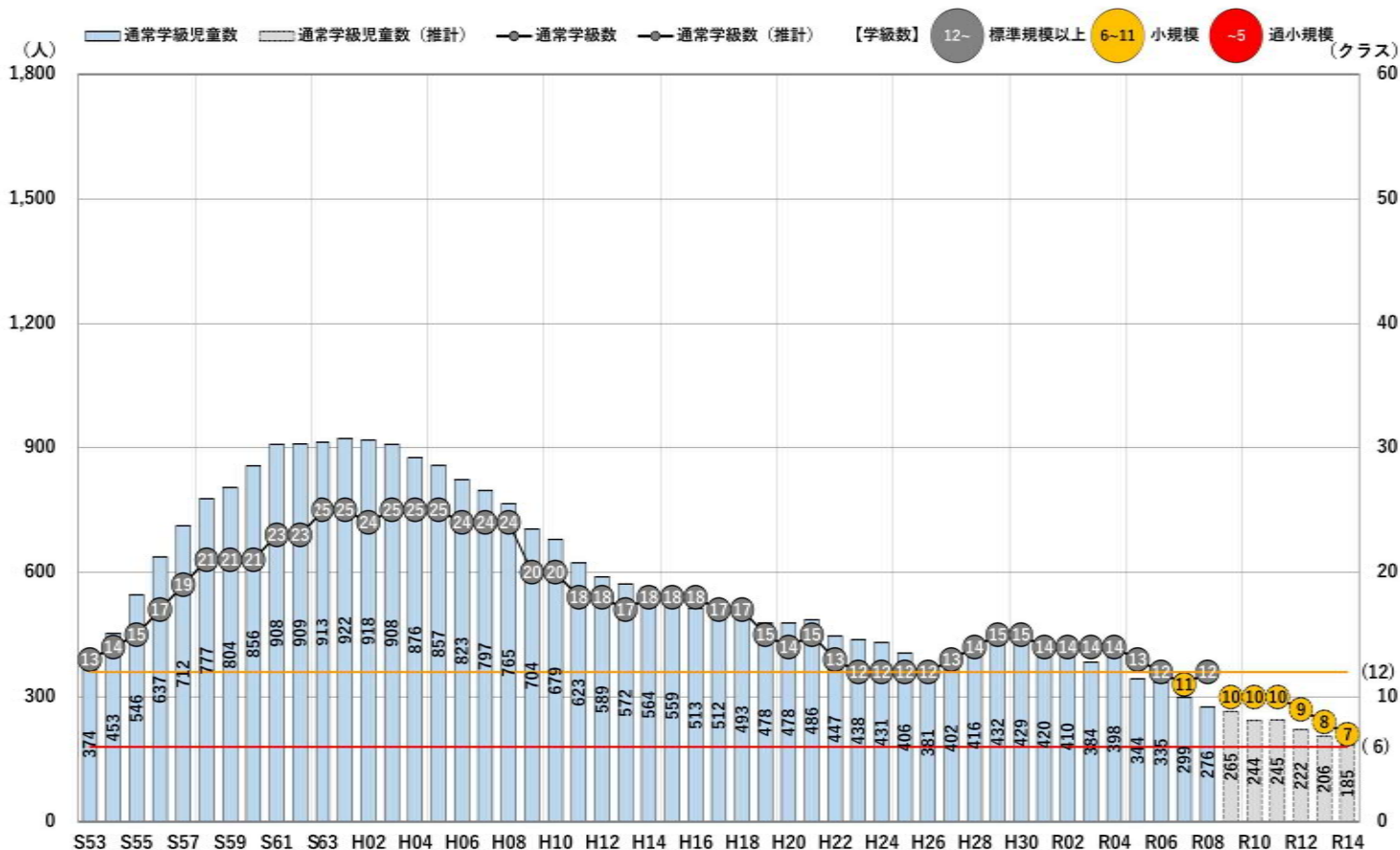
7 鳥飼小学校

校舎最長築年数：築 26 年



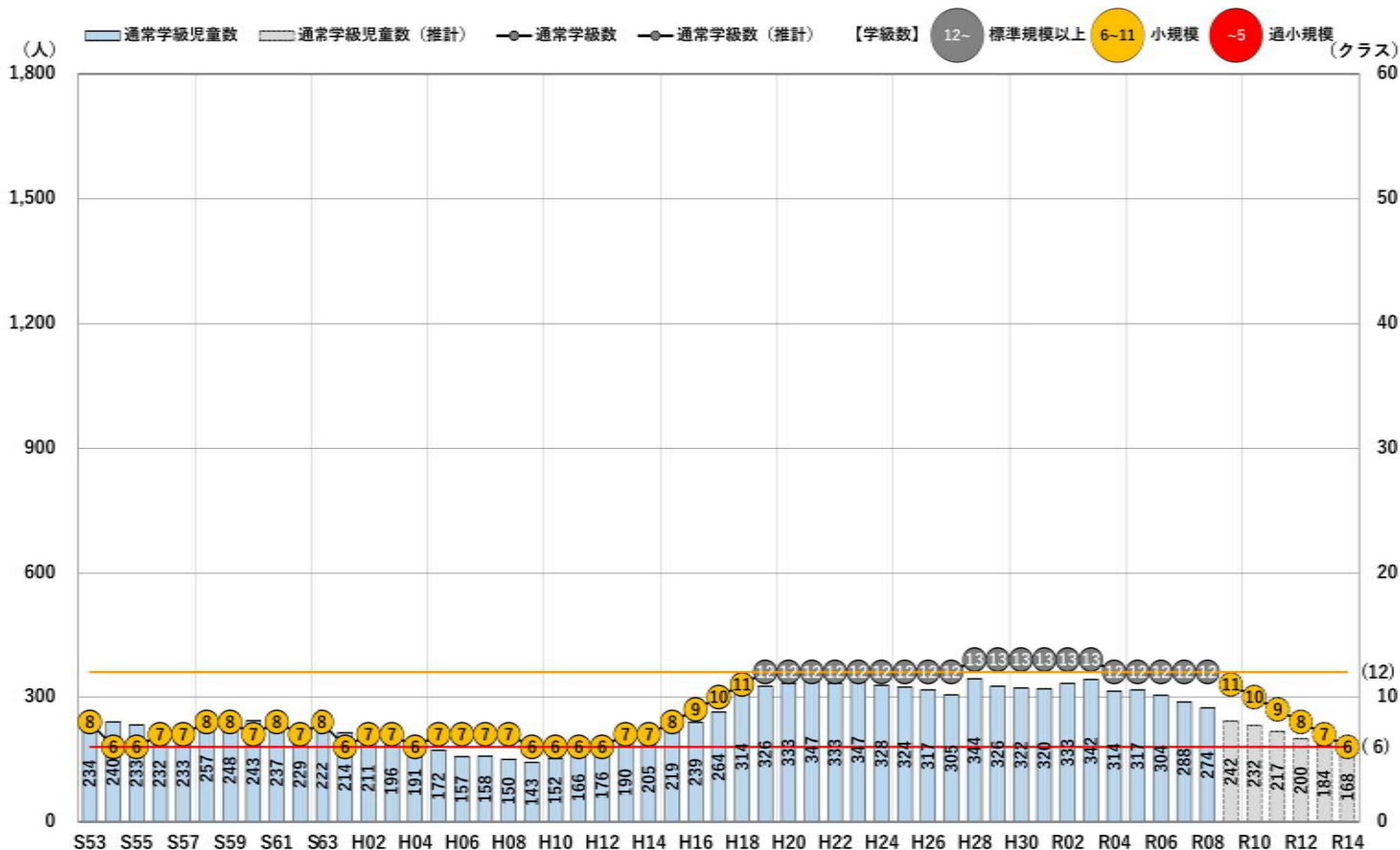
8 長門石小学校

校舎最長築年数：築 49 年



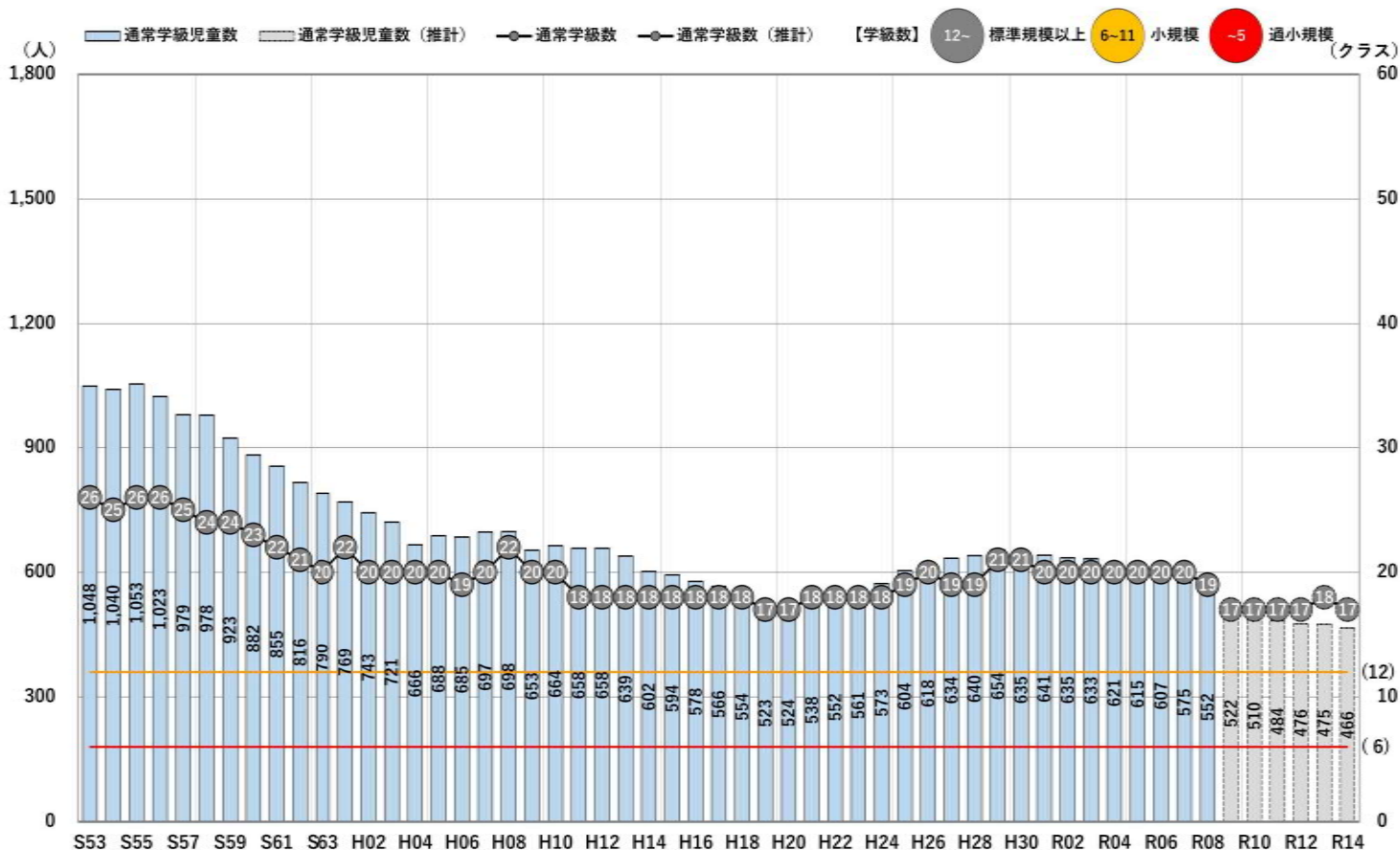
9 小森野小学校

校舎最長築年数：築 59 年



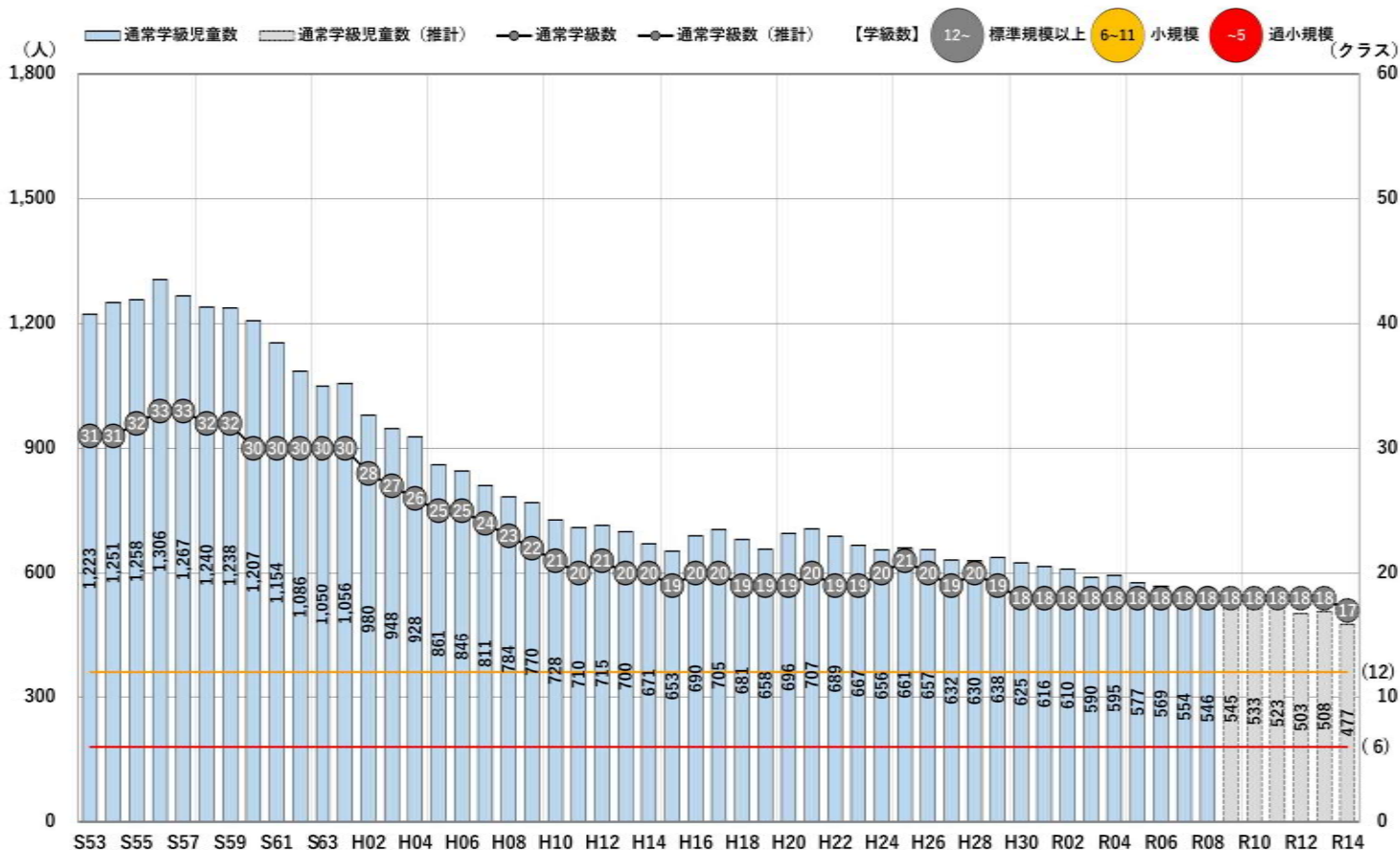
10 金丸小学校

校舎最長築年数：築 65 年



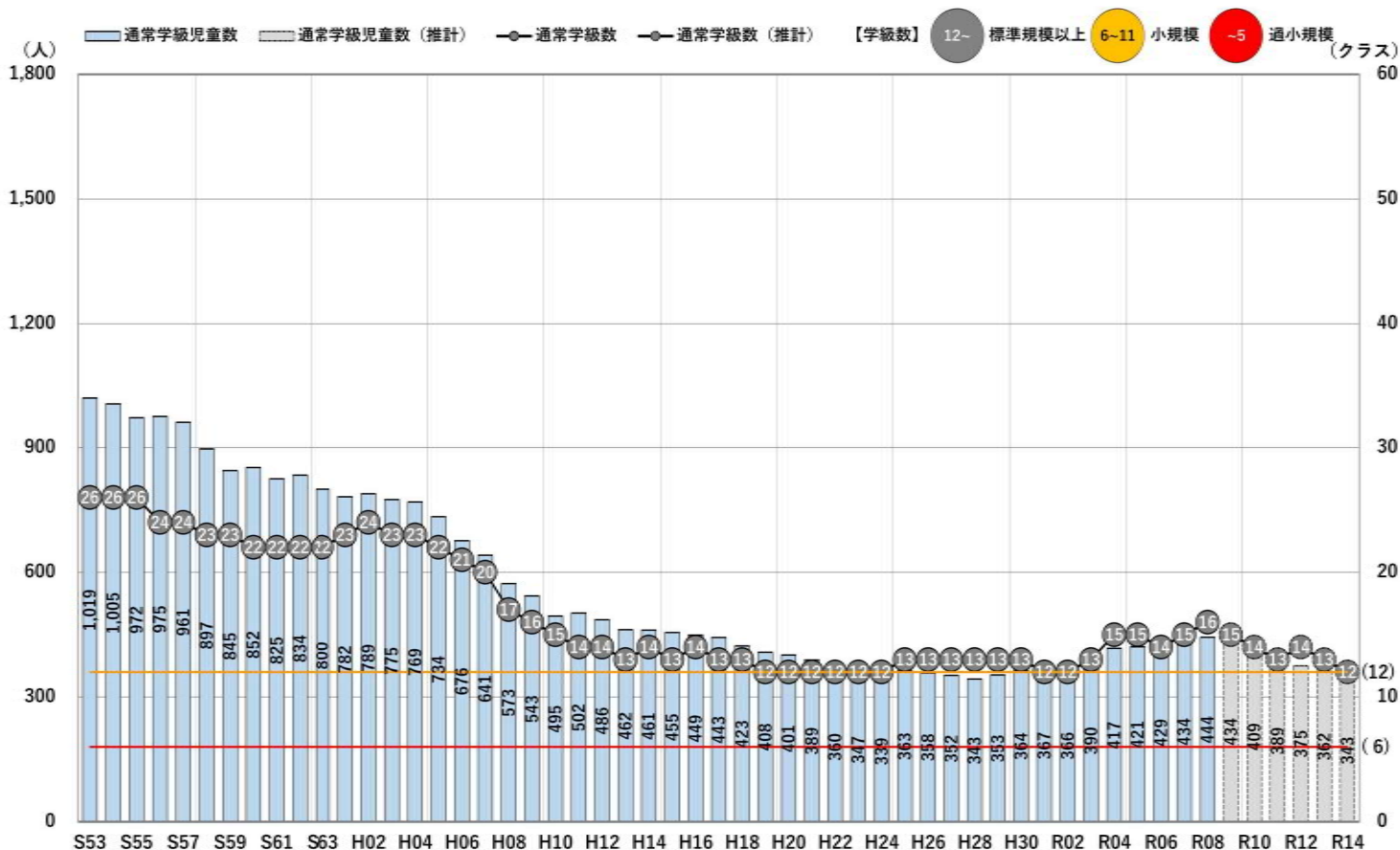
11 東国分小学校

校舎最長築年数：築 61 年



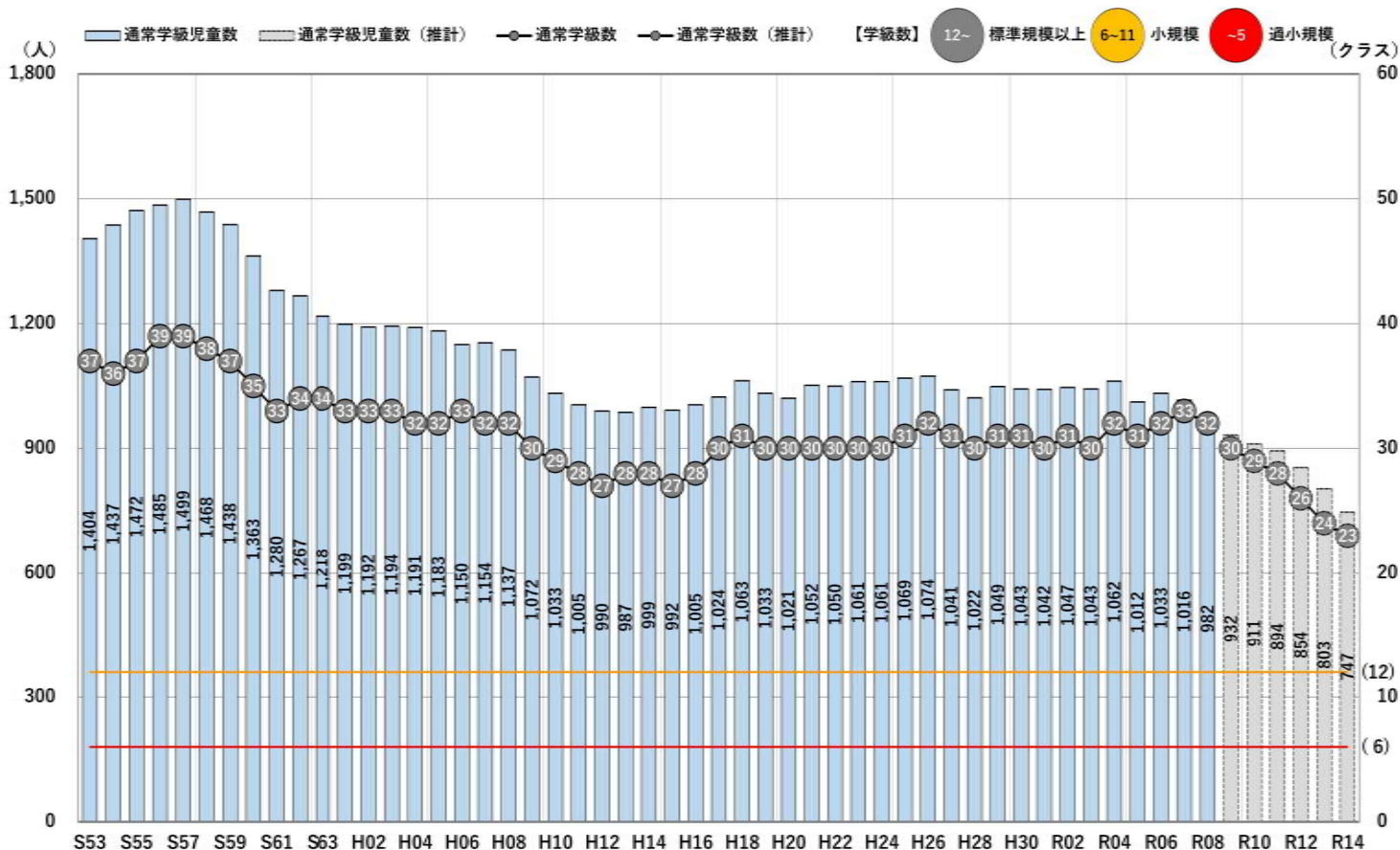
12 御井小学校

校舎最長築年数：築 58 年



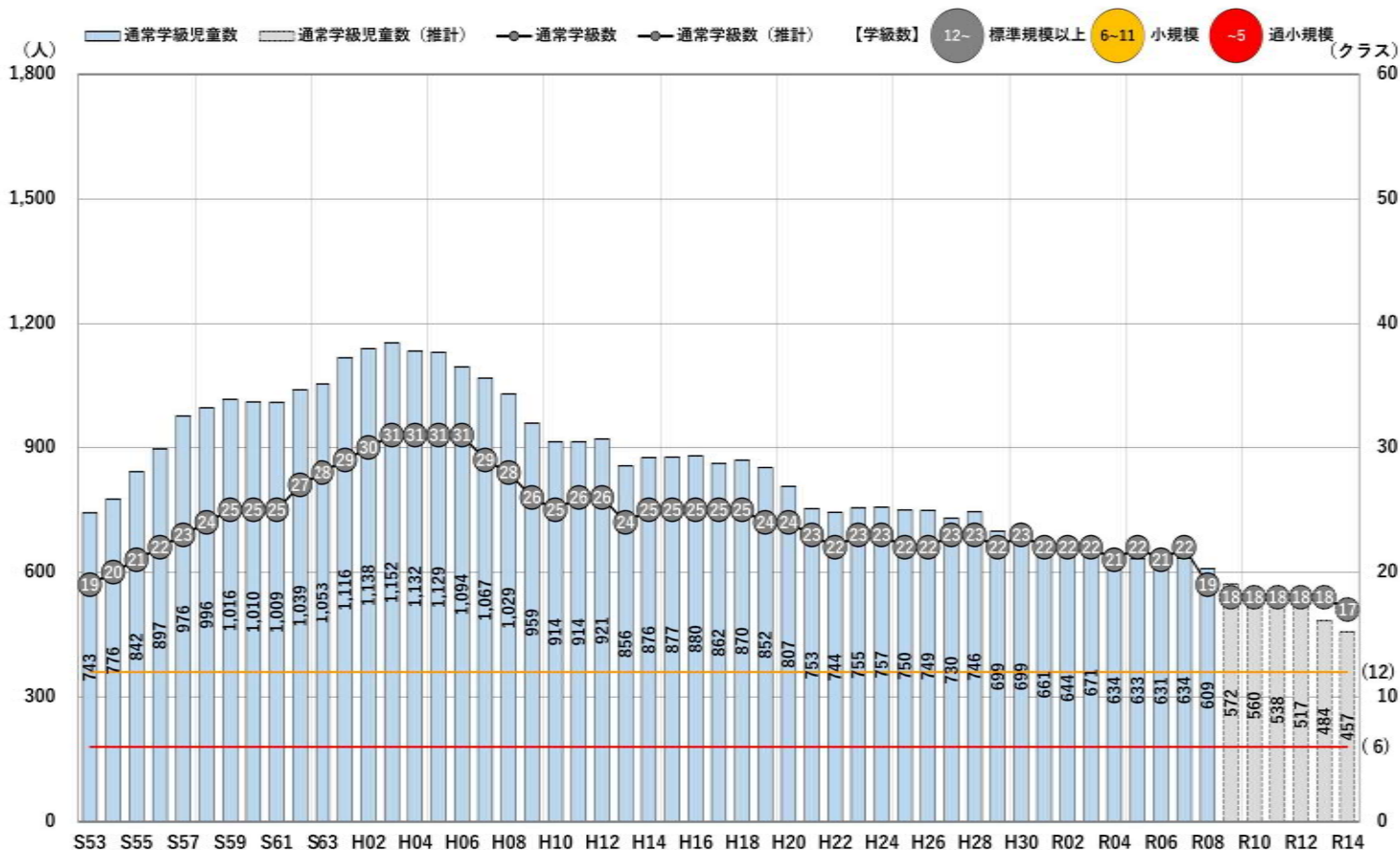
13 南小学校

校舎最長築年数：築 57 年



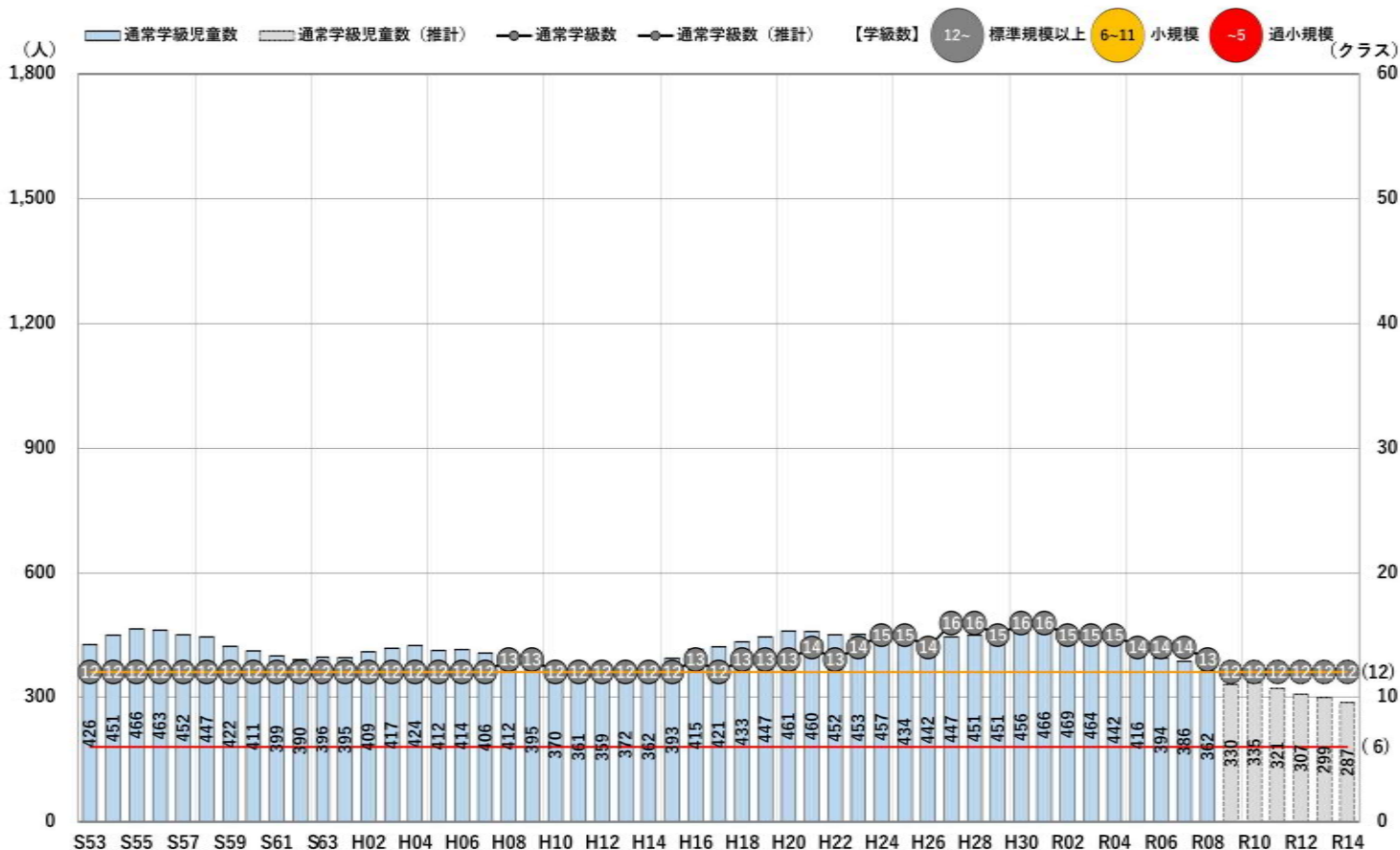
14 合川小学校

校舎最長築年数：築 59 年



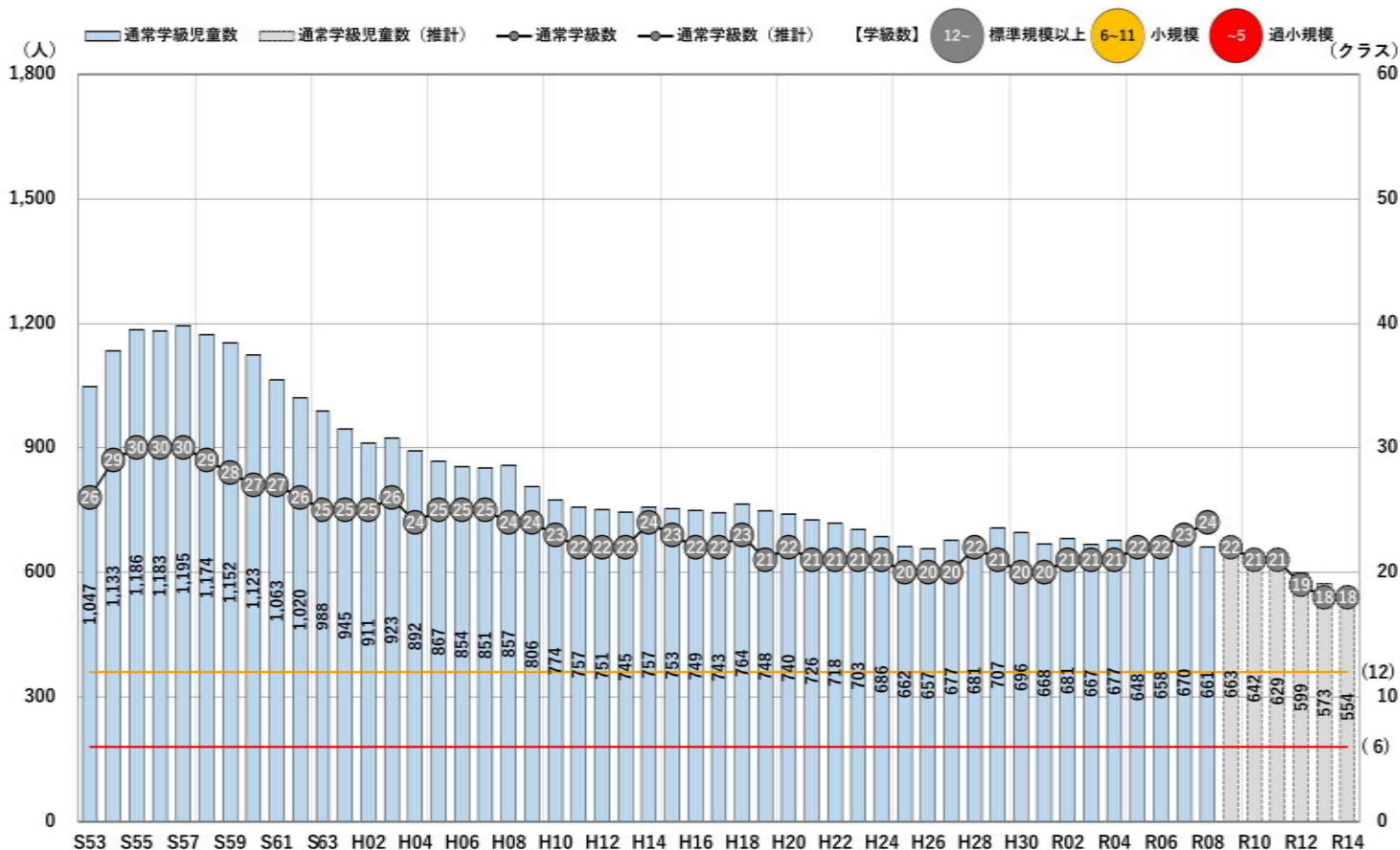
15 山川小学校

校舎最長築年数：築 59 年



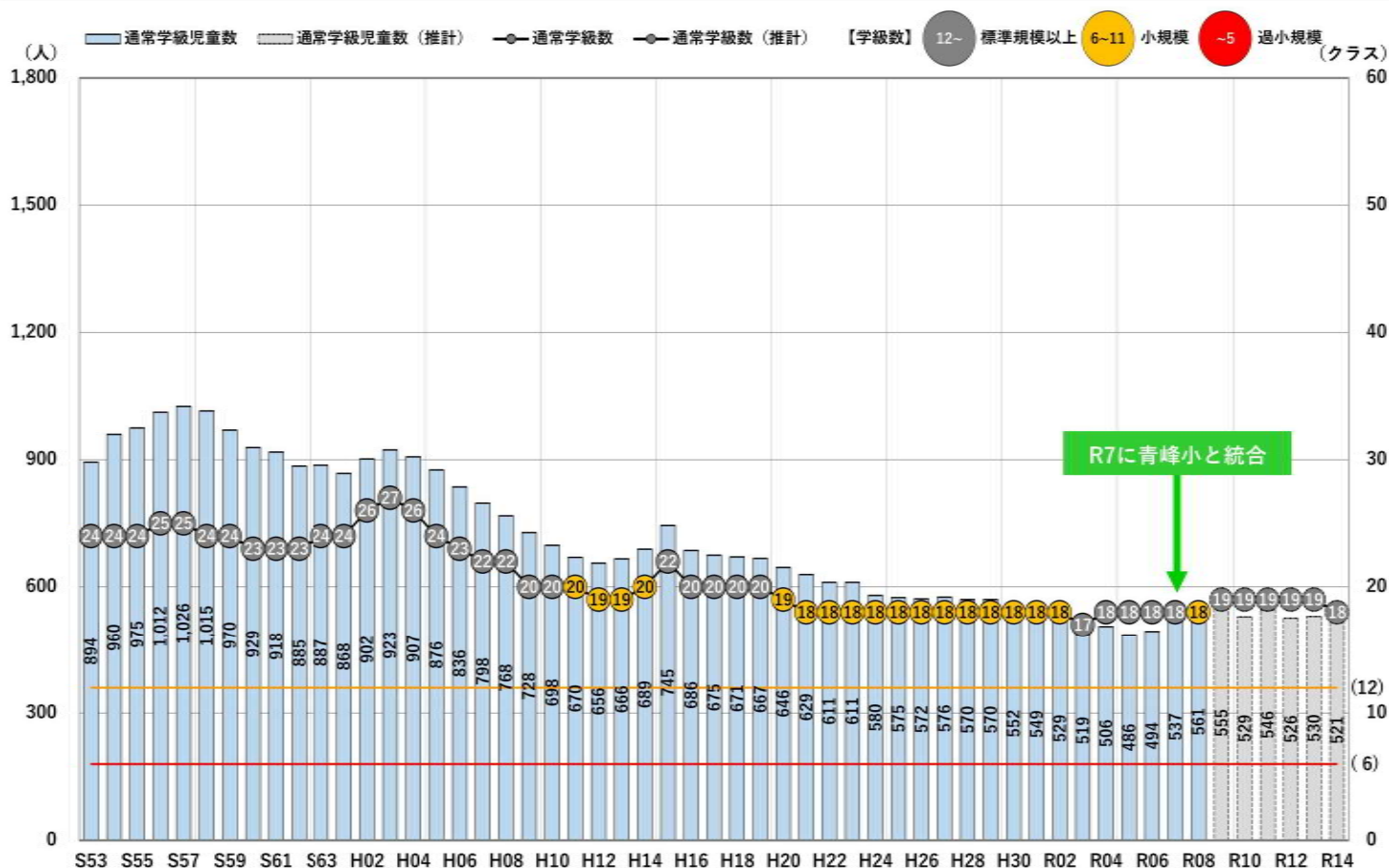
16 上津小学校

校舎最長築年数：築 58 年



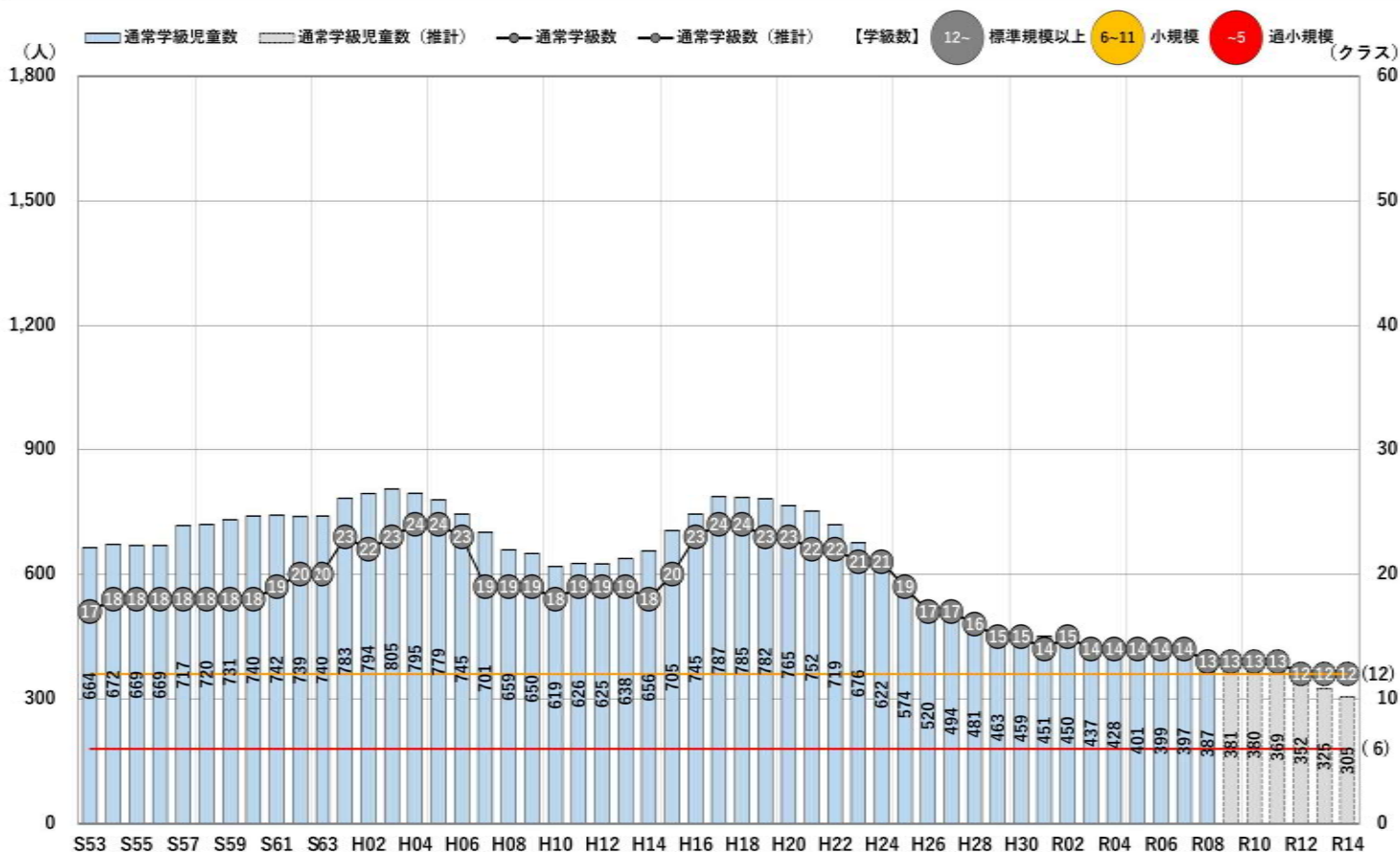
17 高良内小学校

校舎最長築年数：築 58 年



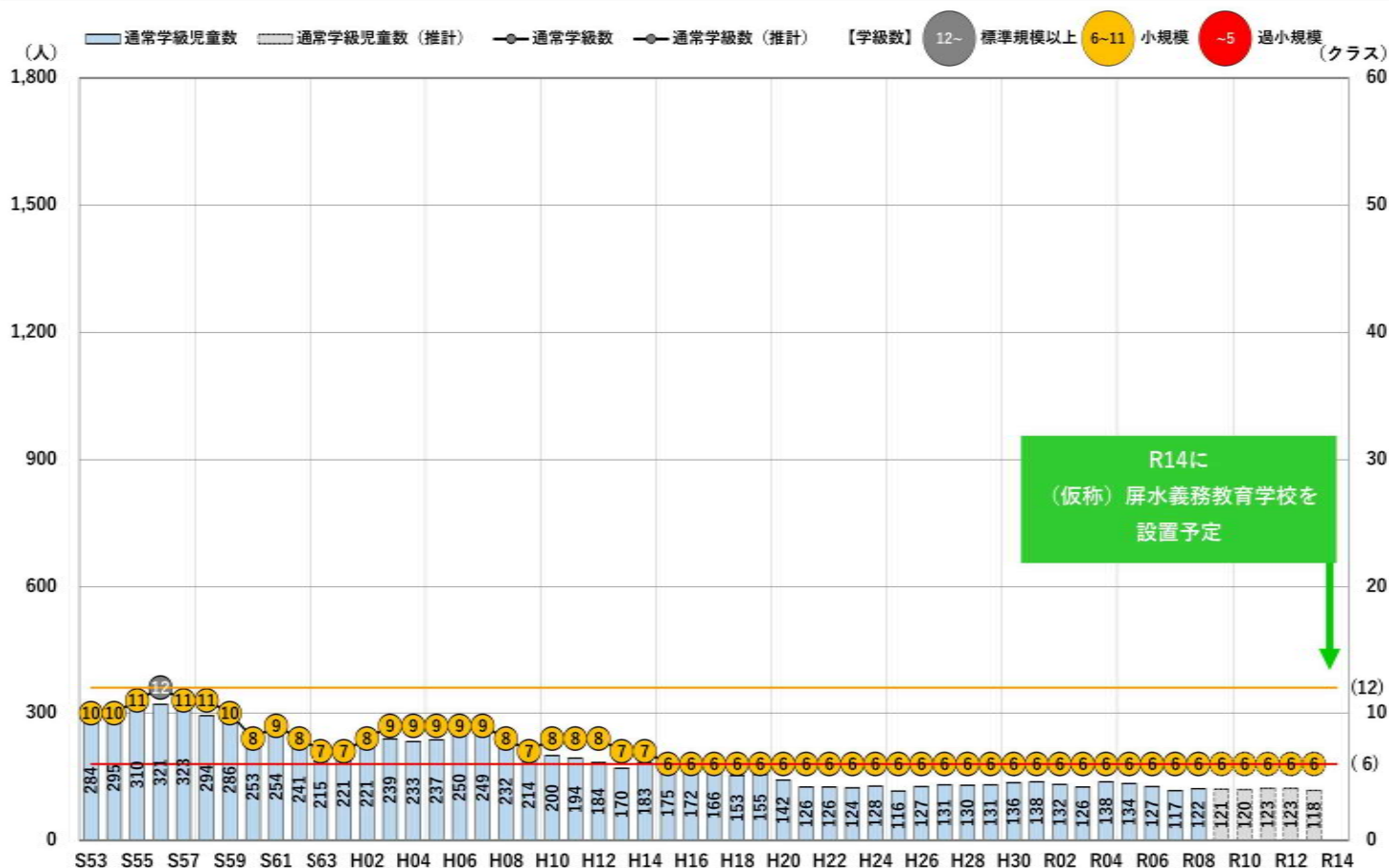
18 宮ノ陣小学校

校舎最長築年数：築 51 年



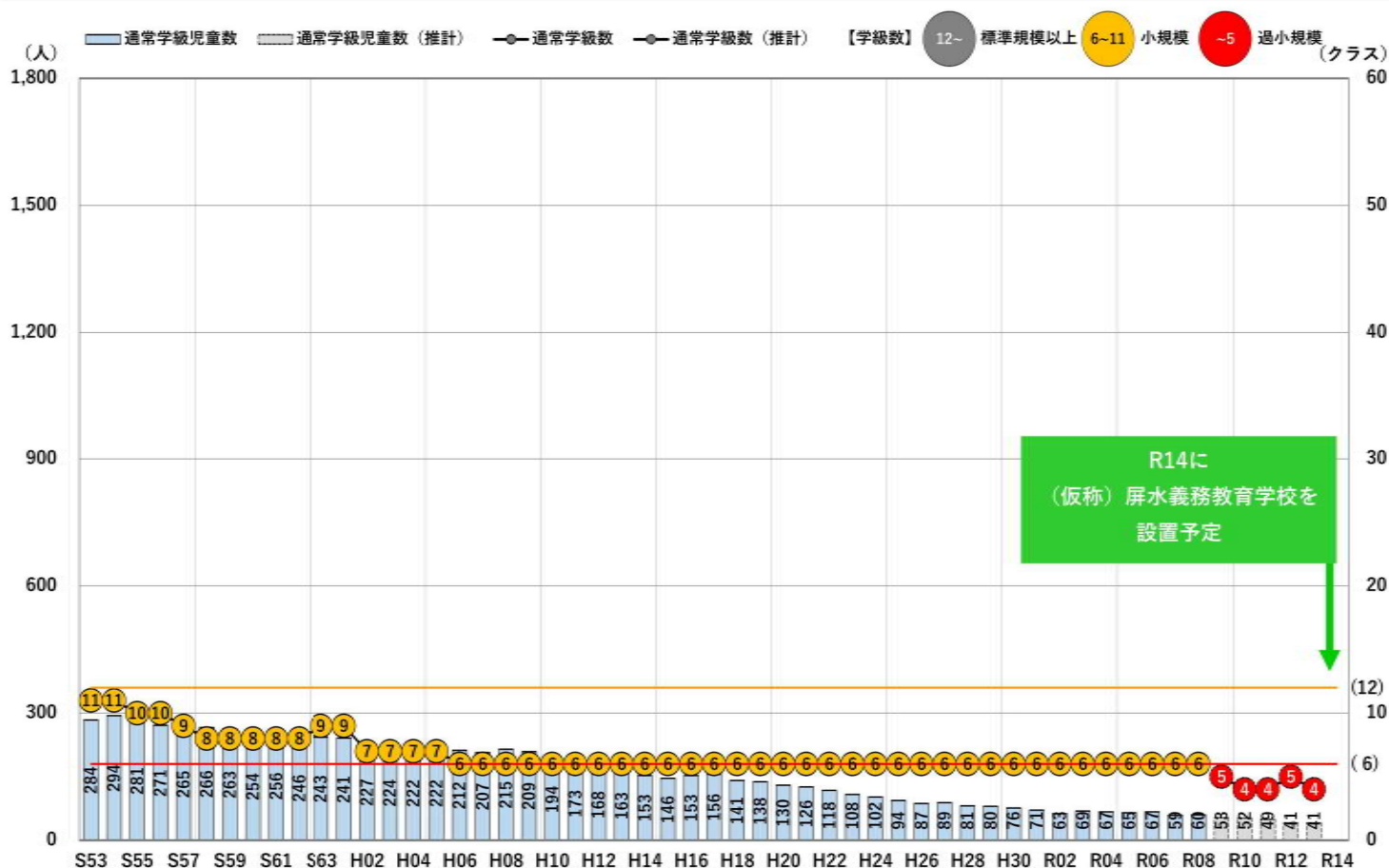
19 山本小学校

校舎最長築年数：築 54 年



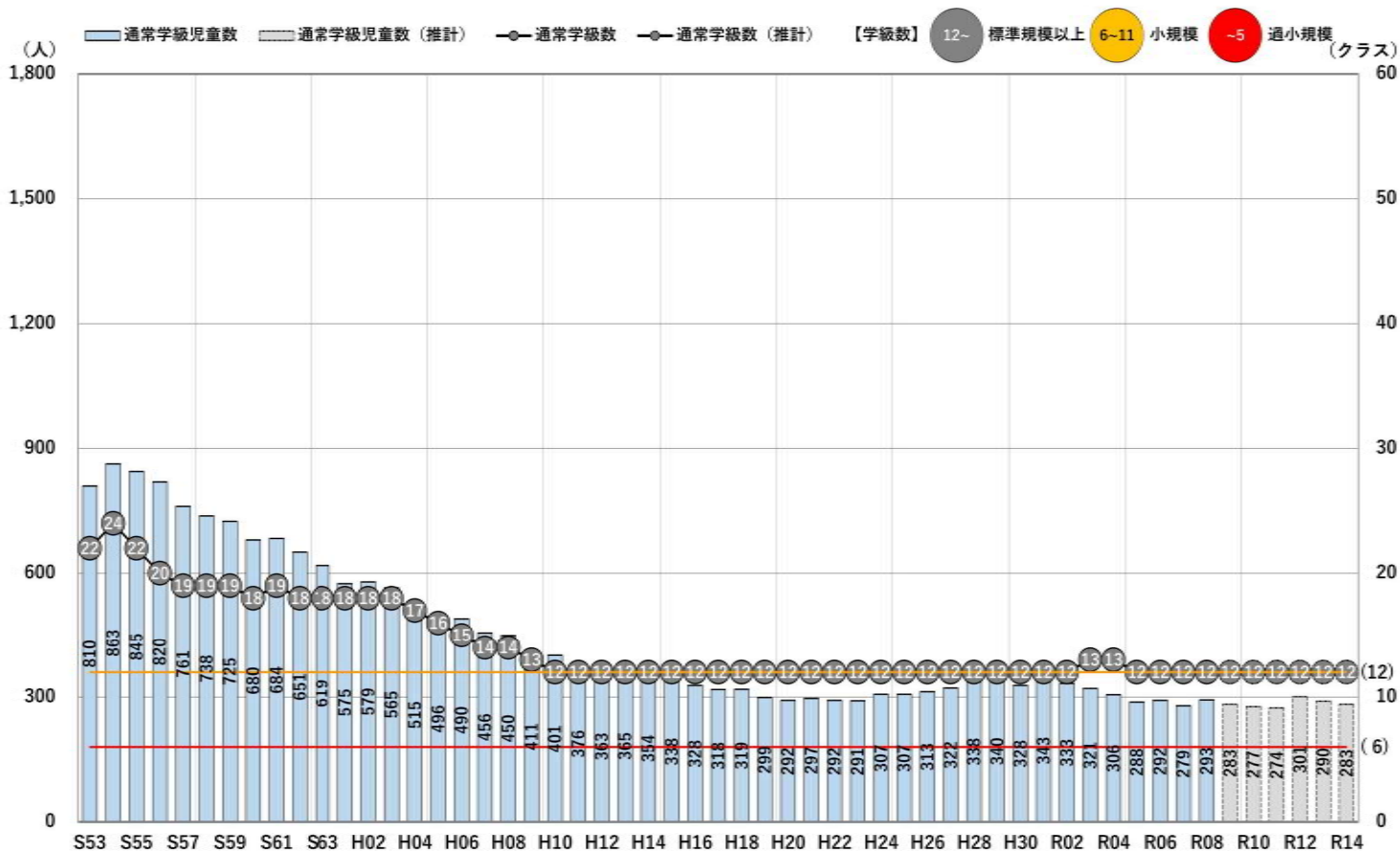
20 草野小学校

校舎最長築年数：築 51 年



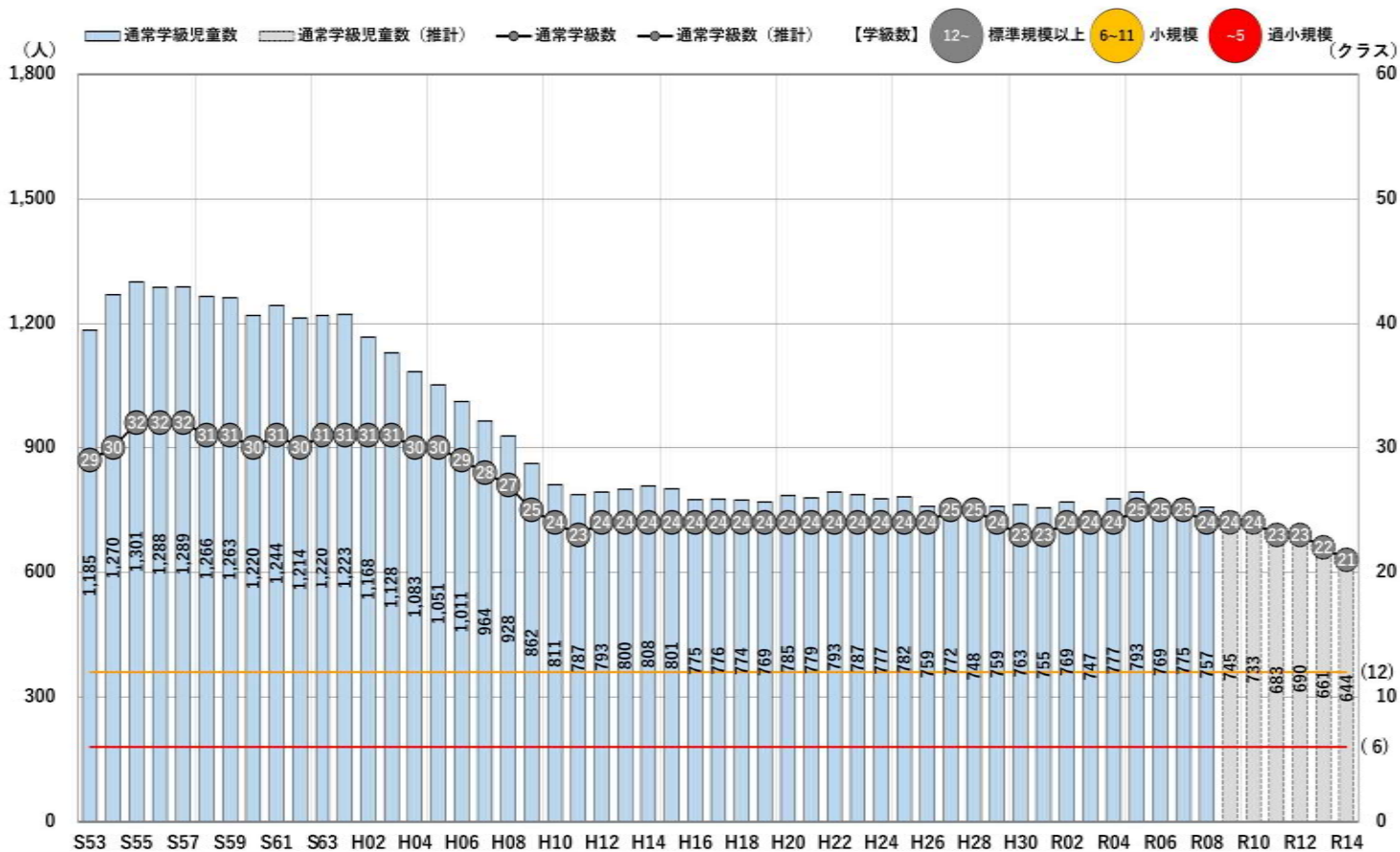
21 安武小学校

校舎最長築年数：築 67 年



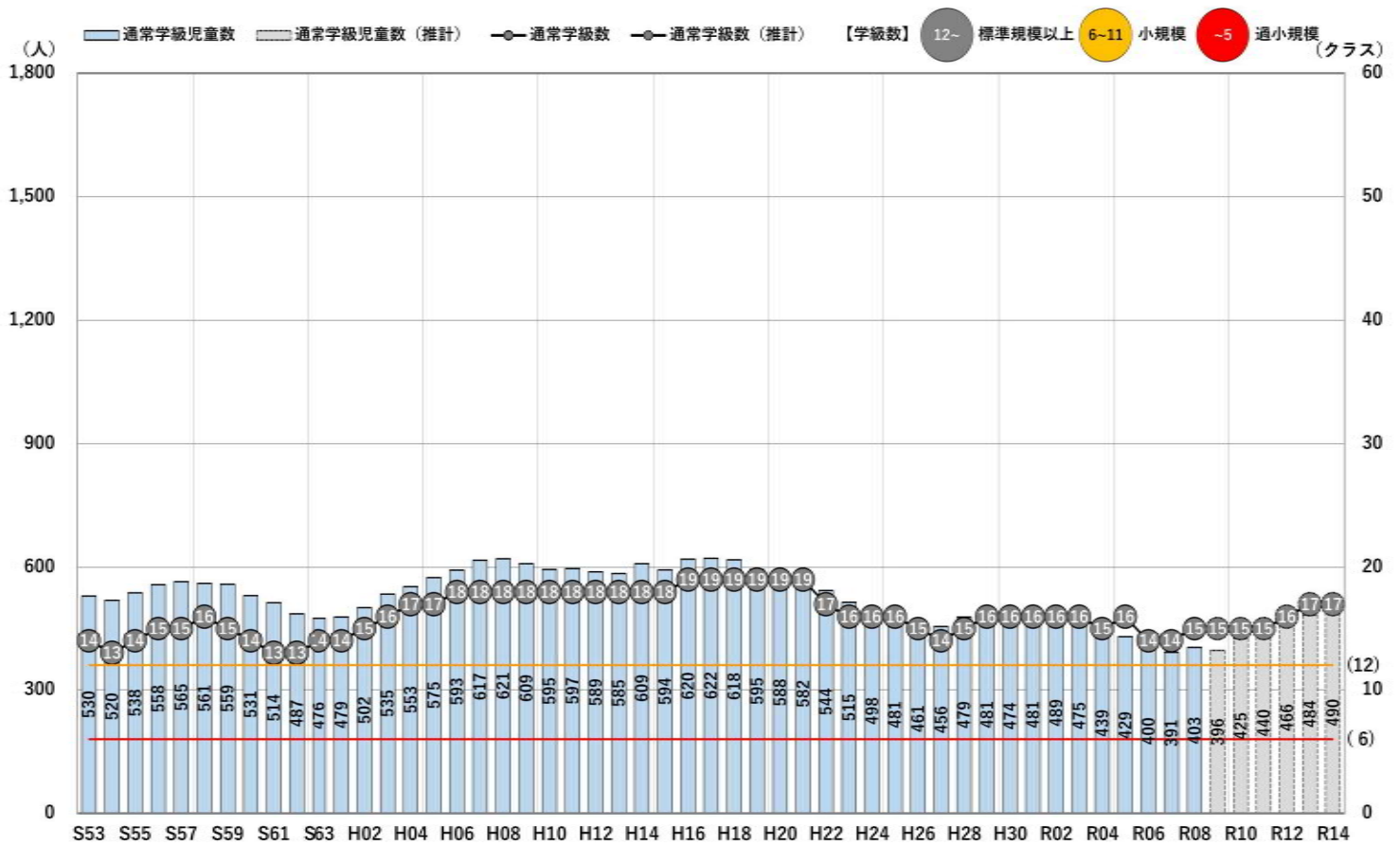
22 荒木小学校

校舎最長築年数：築 59 年



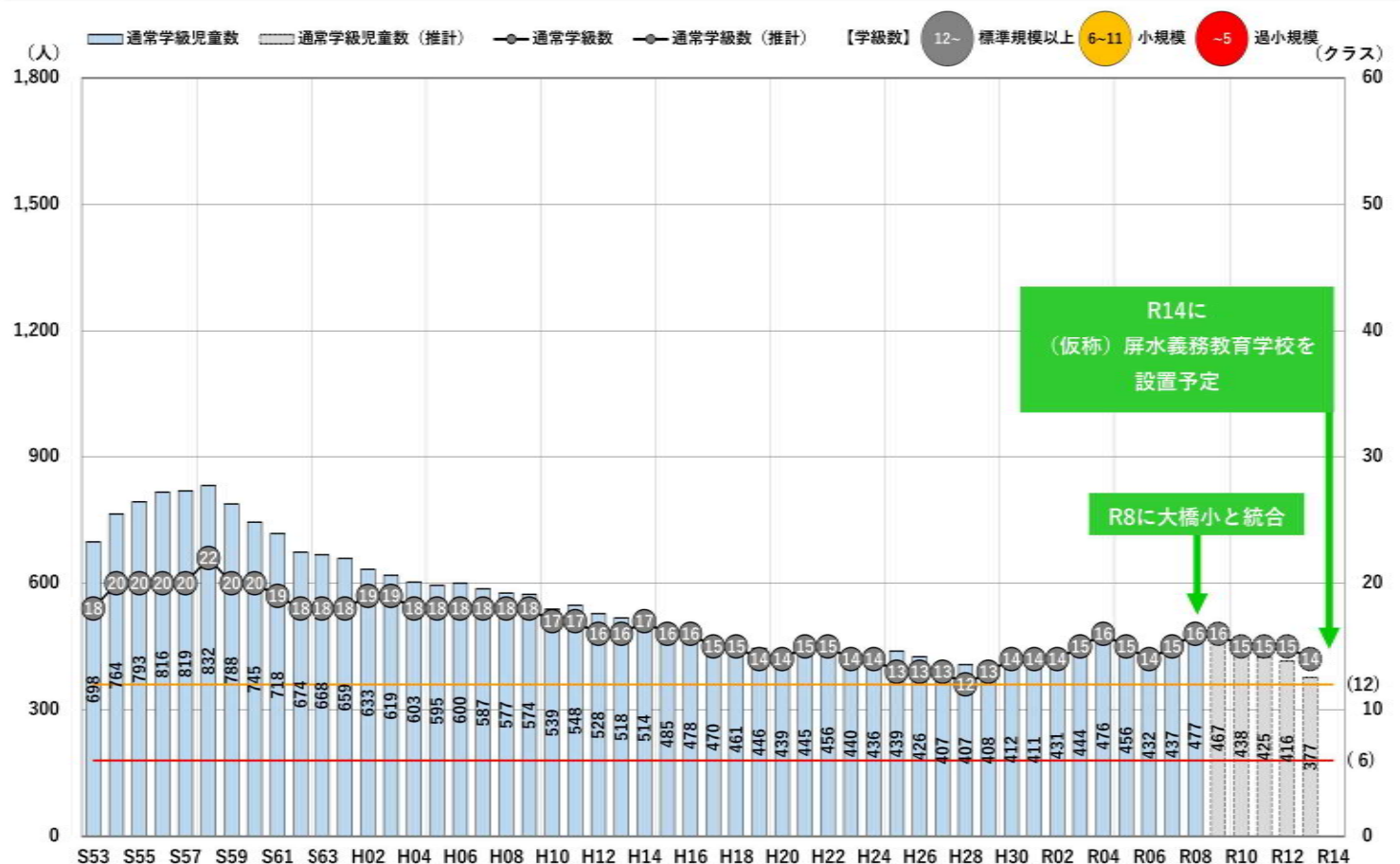
23 大善寺小学校

校舎最長築年数：築 50 年



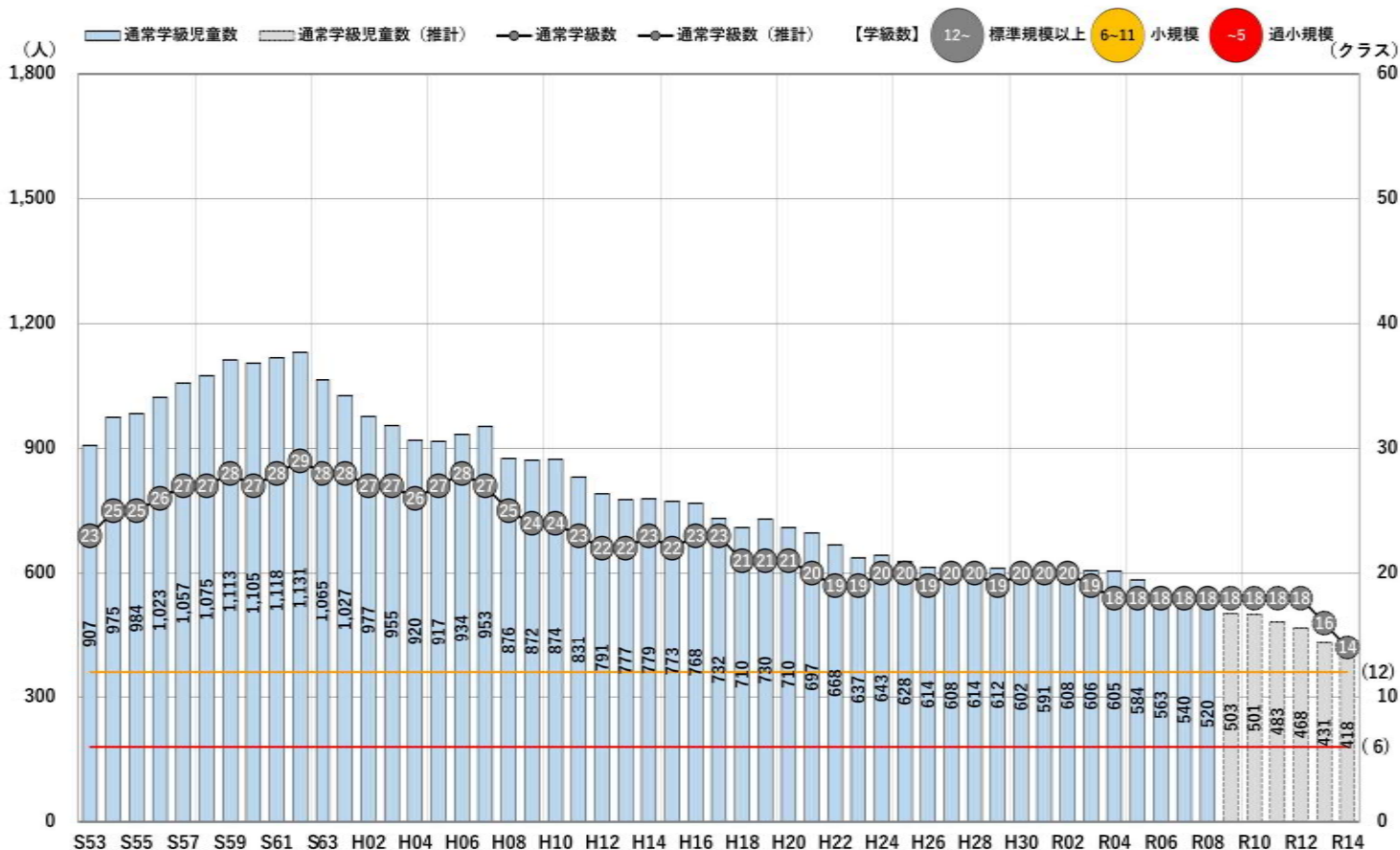
24 善導寺小学校

校舎最長築年数：築 48 年



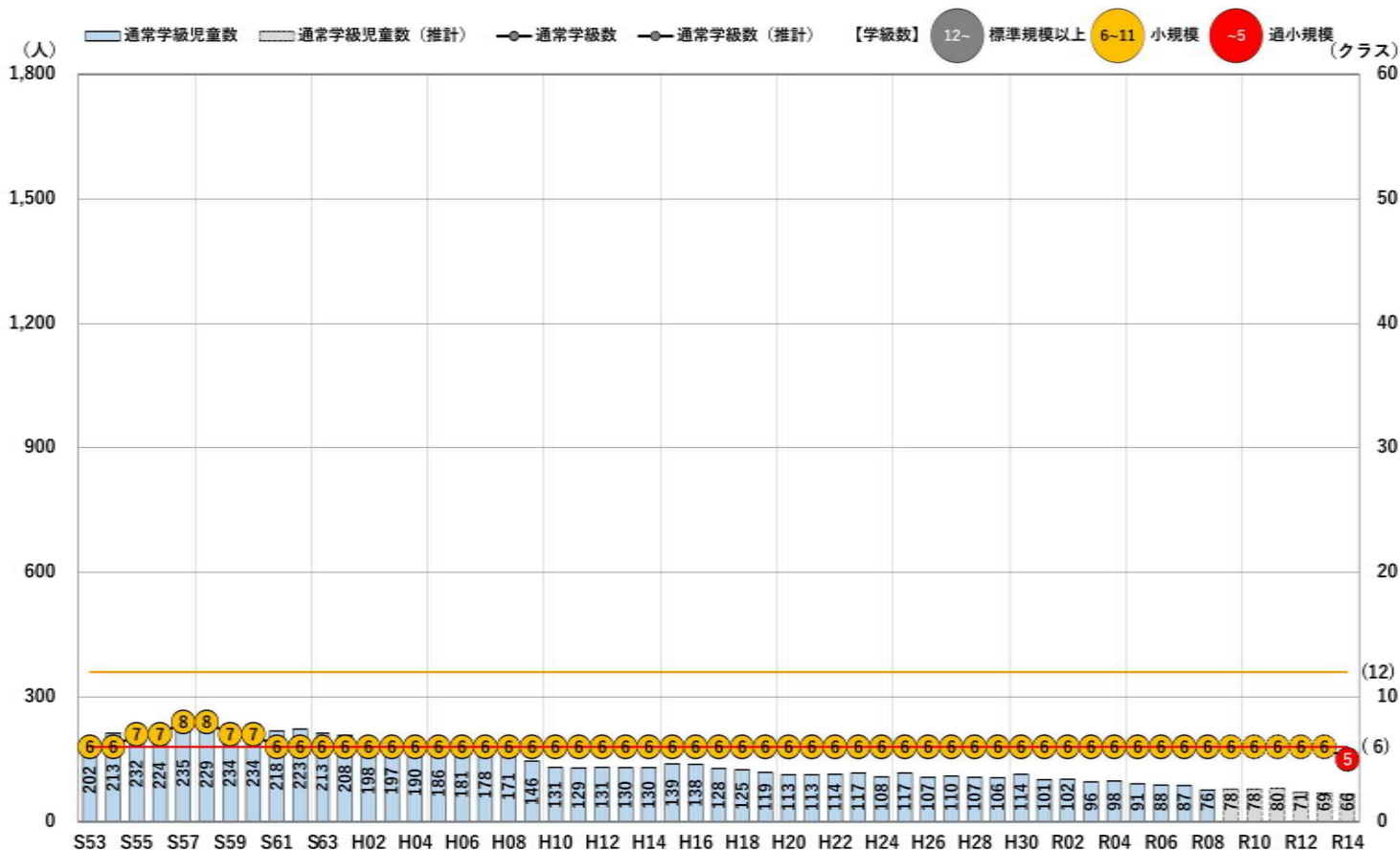
27 津福小学校

校舎最長築年数：築 49 年



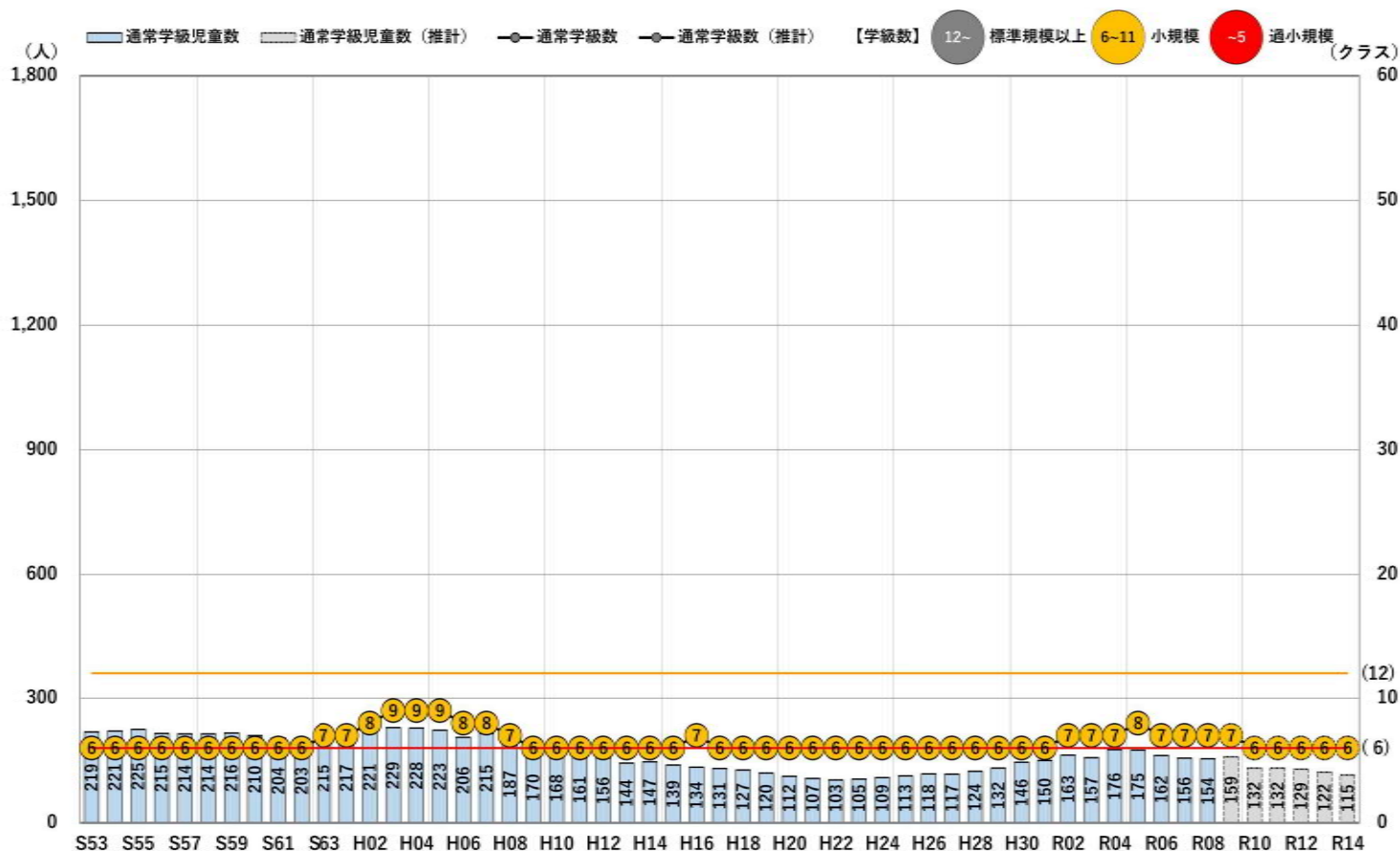
28 船越小学校

校舎最長築年数：築 48 年



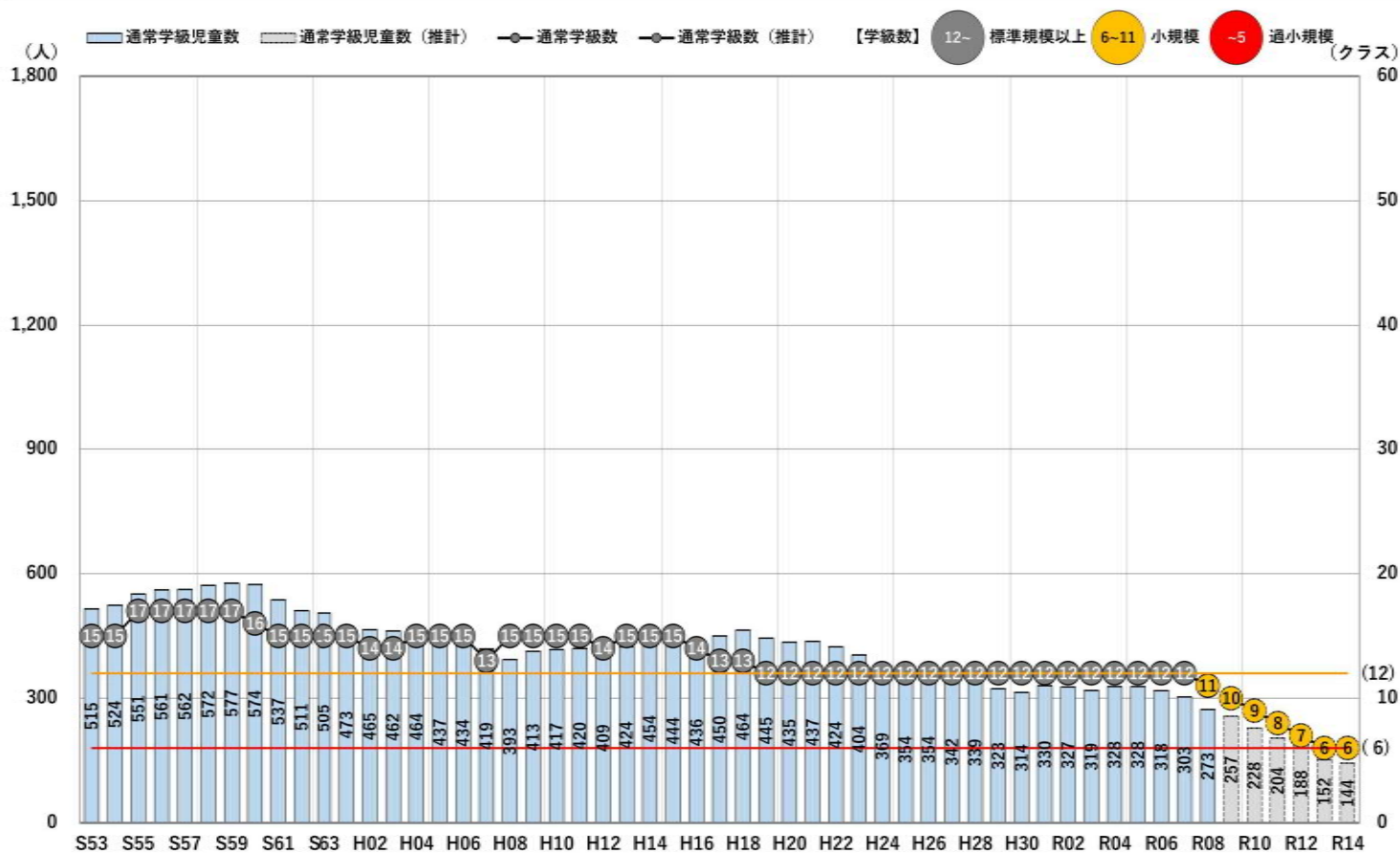
29 水縄小学校

校舎最長築年数：築 42 年



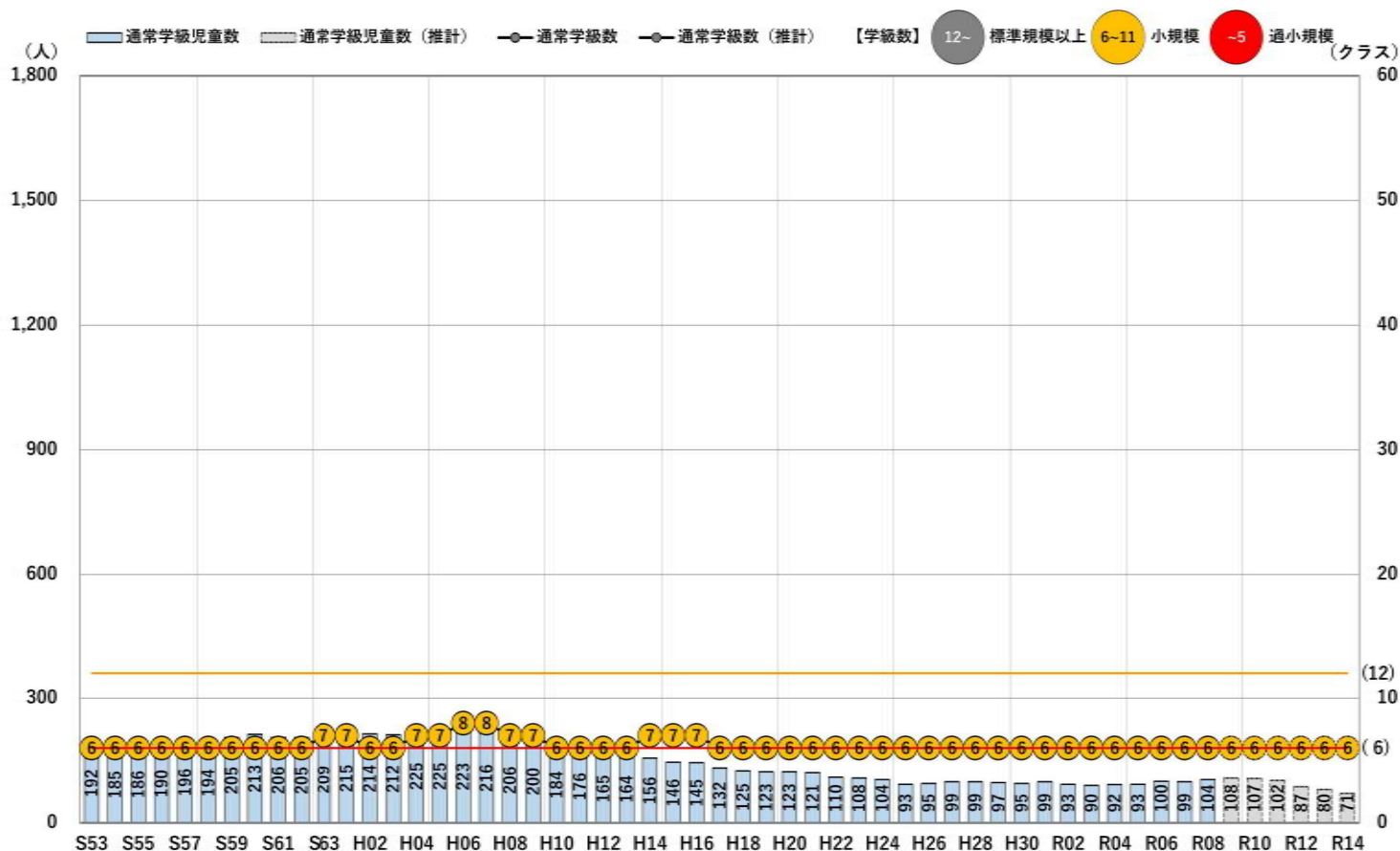
30 田主丸小学校

校舎最長築年数：築 53 年



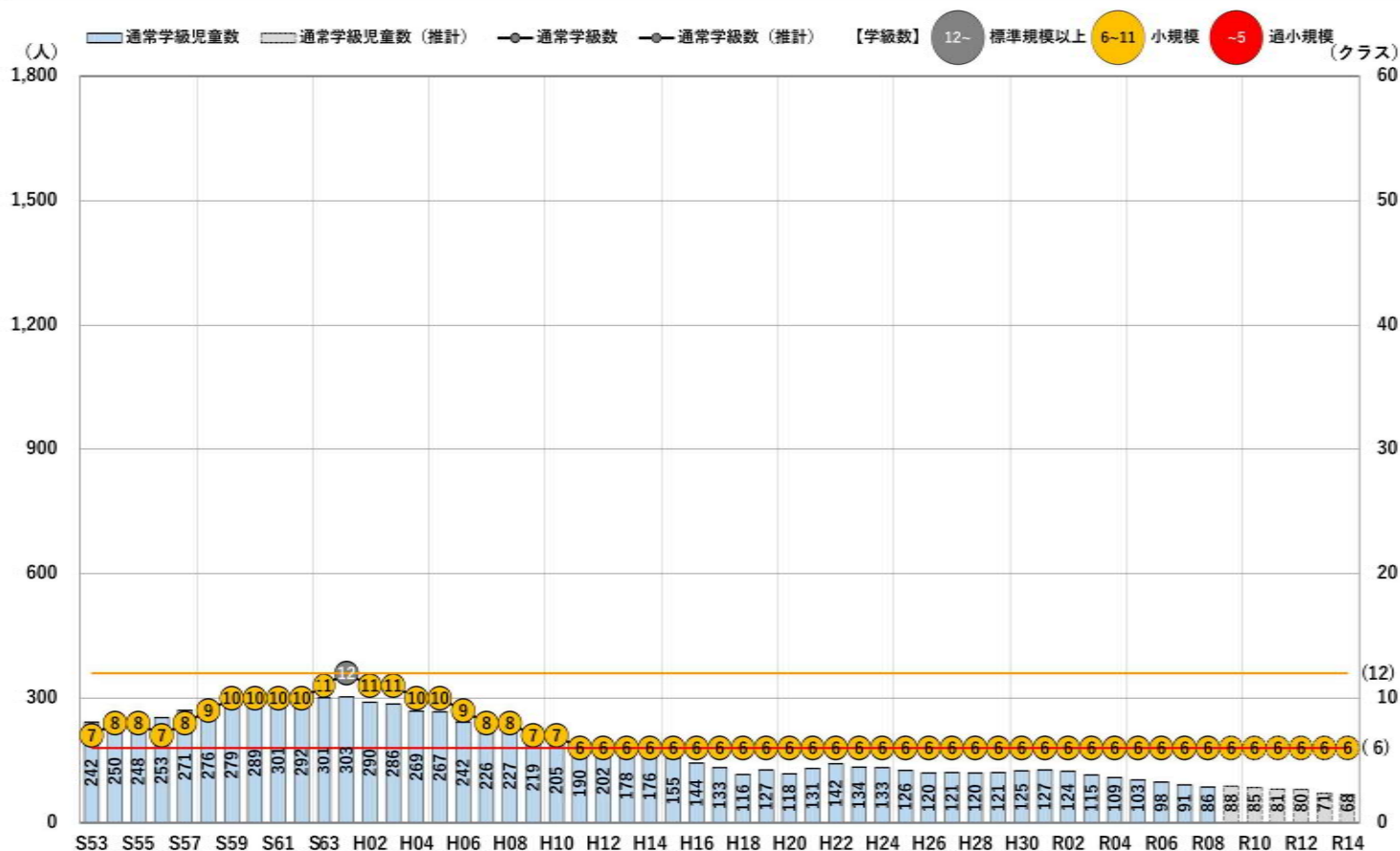
31 水分小学校

校舎最長築年数：築 43 年



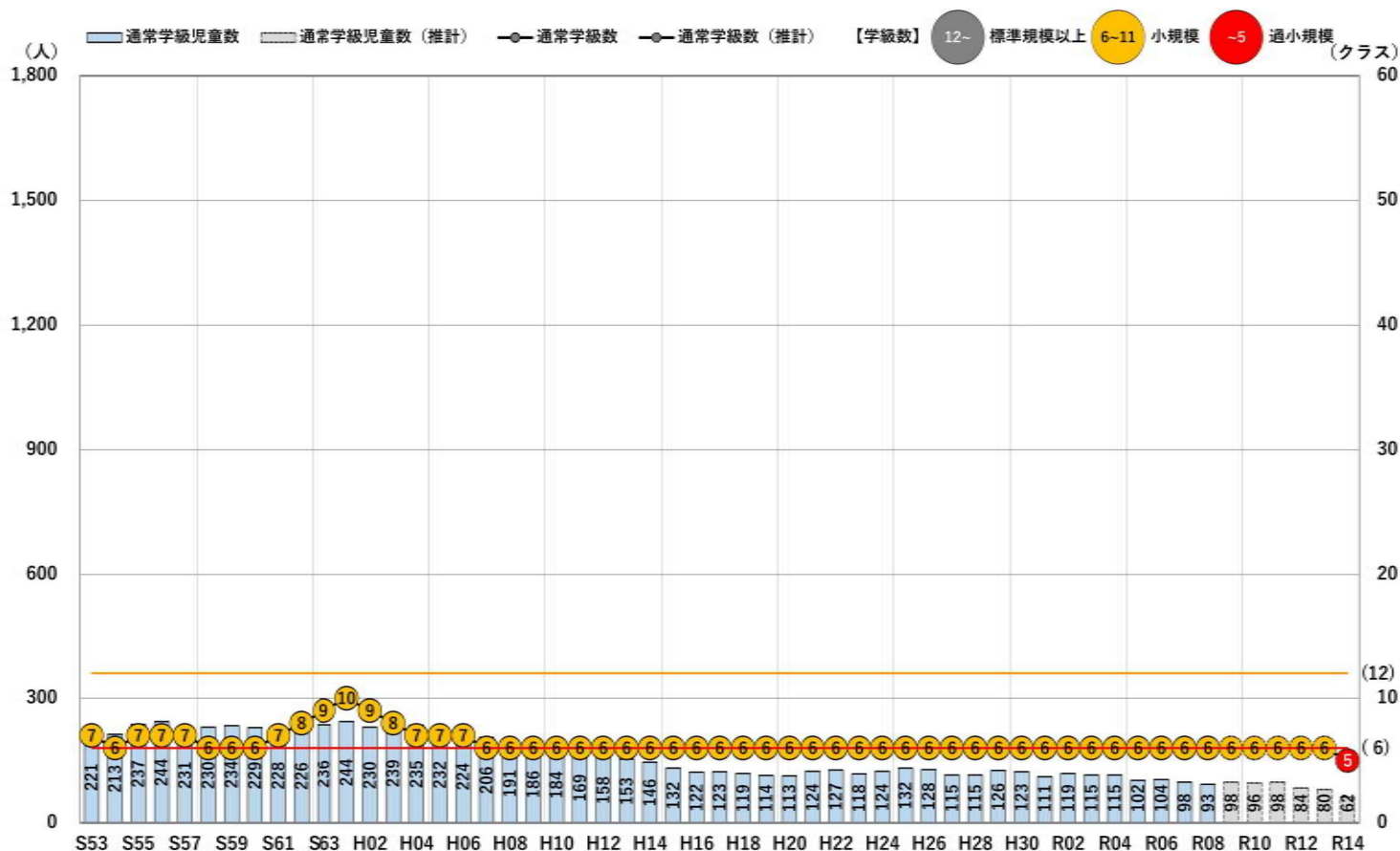
32 竹野小学校

校舎最長築年数：築 60 年



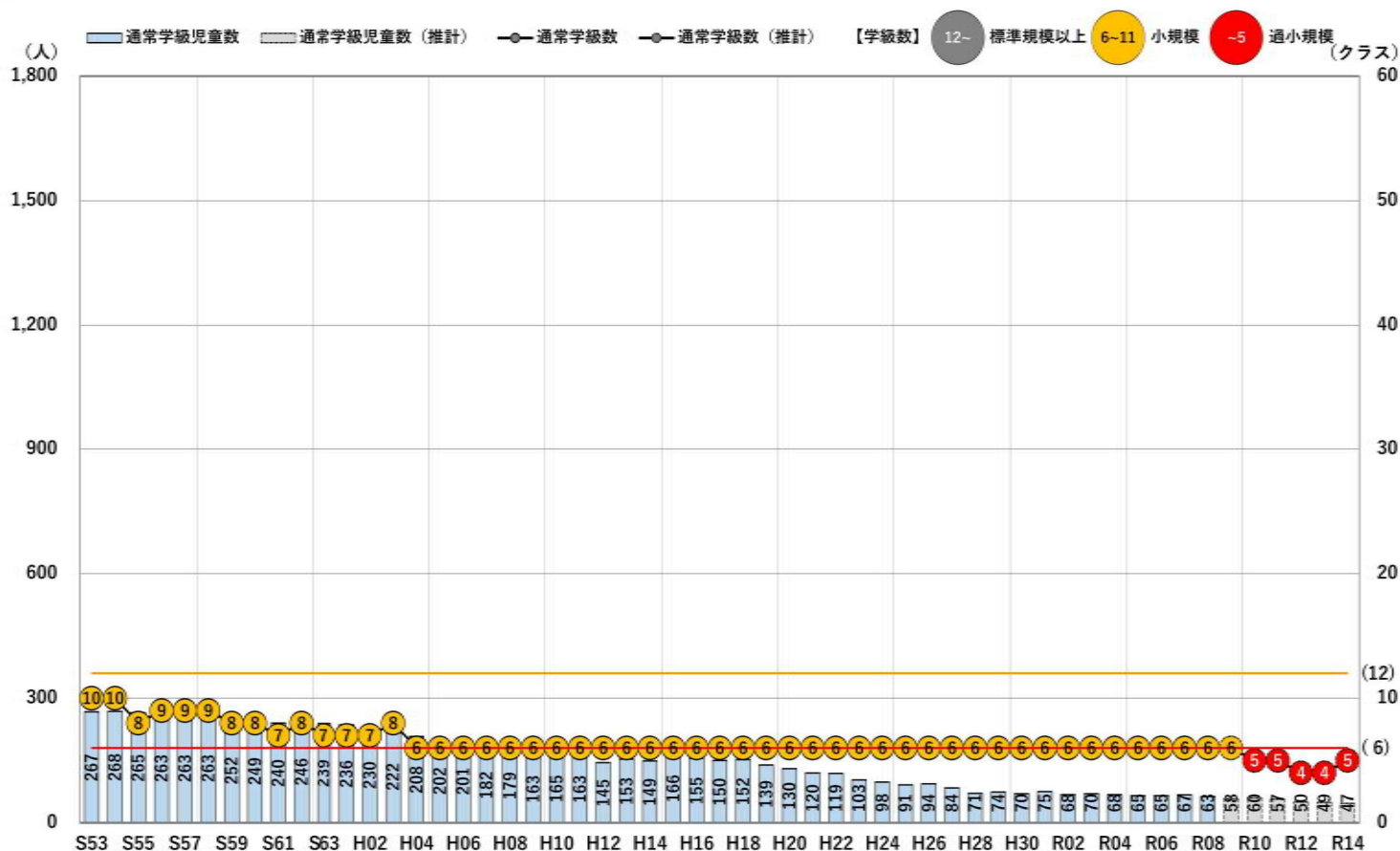
33 川会小学校

校舎最長築年数：築 50 年



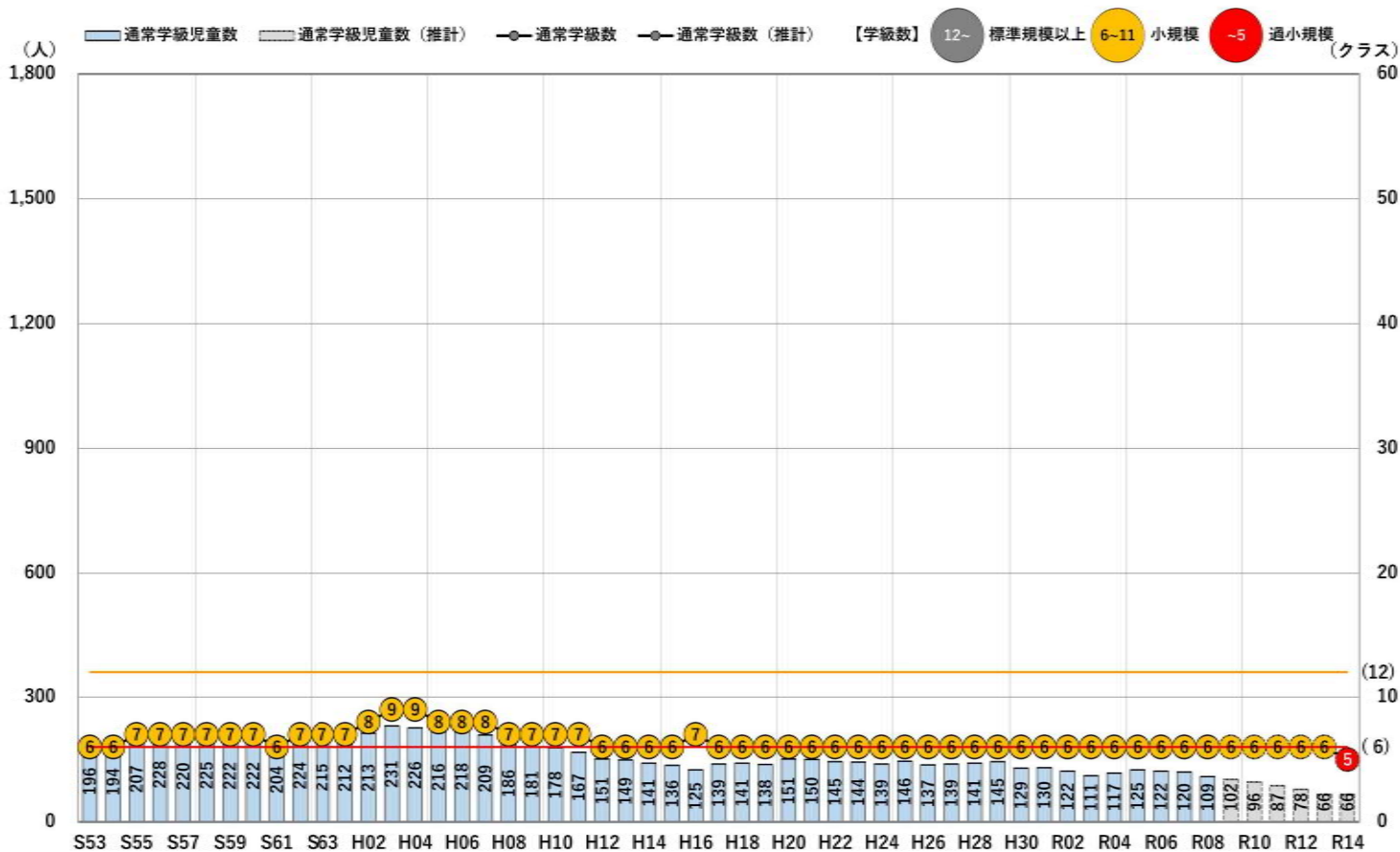
34 柴刈小学校

校舎最長築年数：築 22 年



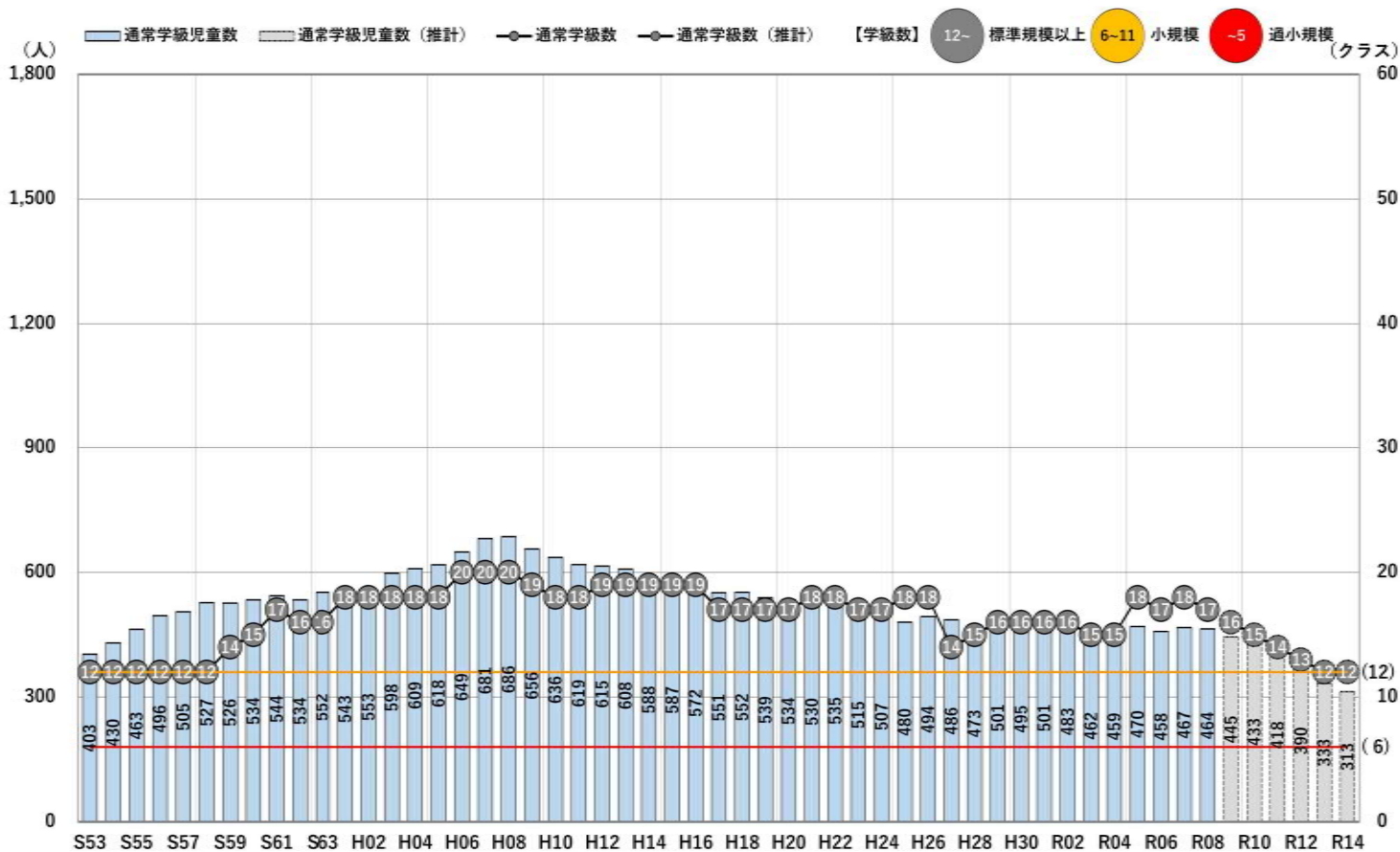
35 弓削小学校

校舎最長築年数：築 49 年



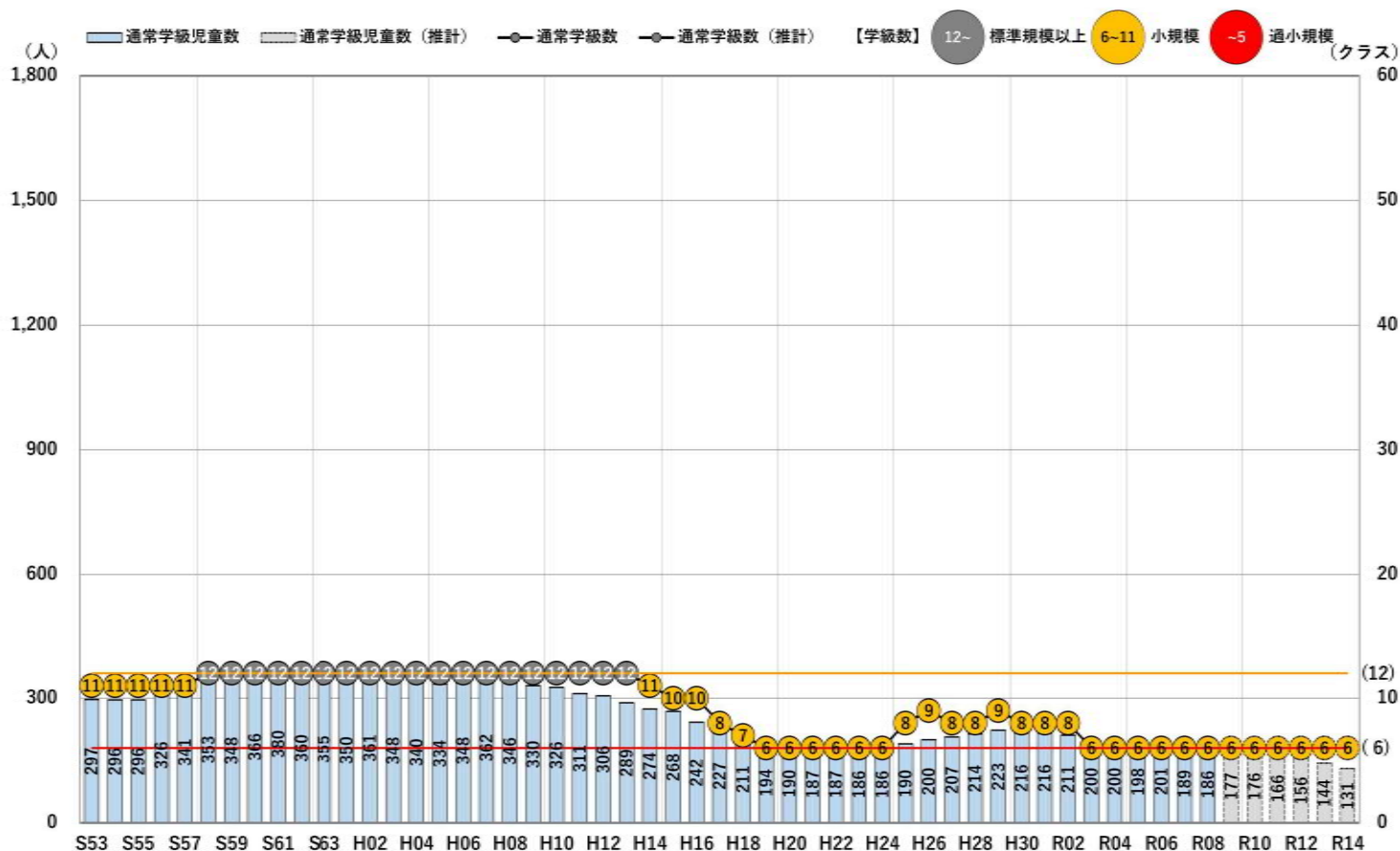
36 北野小学校

校舎最長築年数：築 24 年



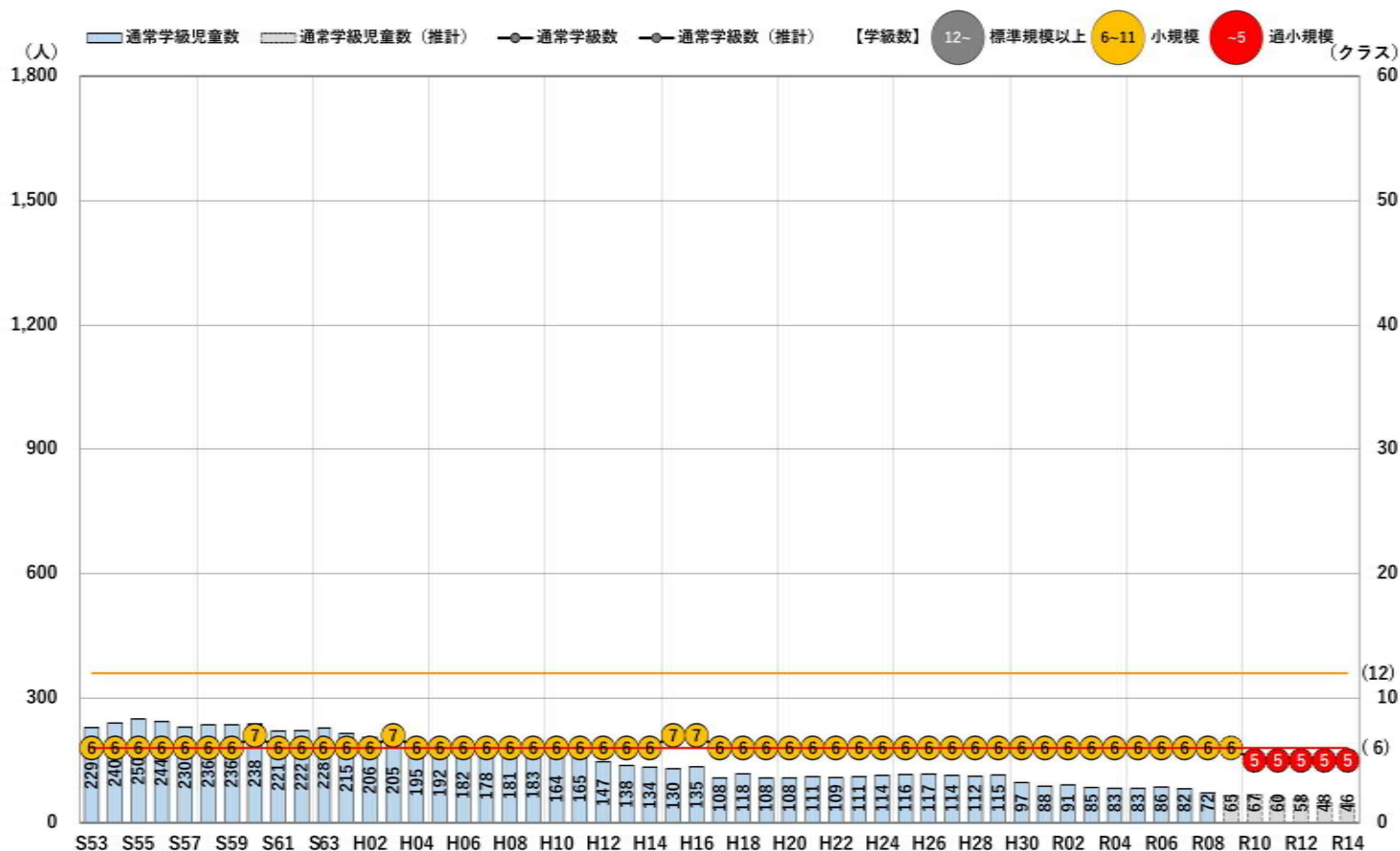
37 大城小学校

校舎最長築年数：築 59 年



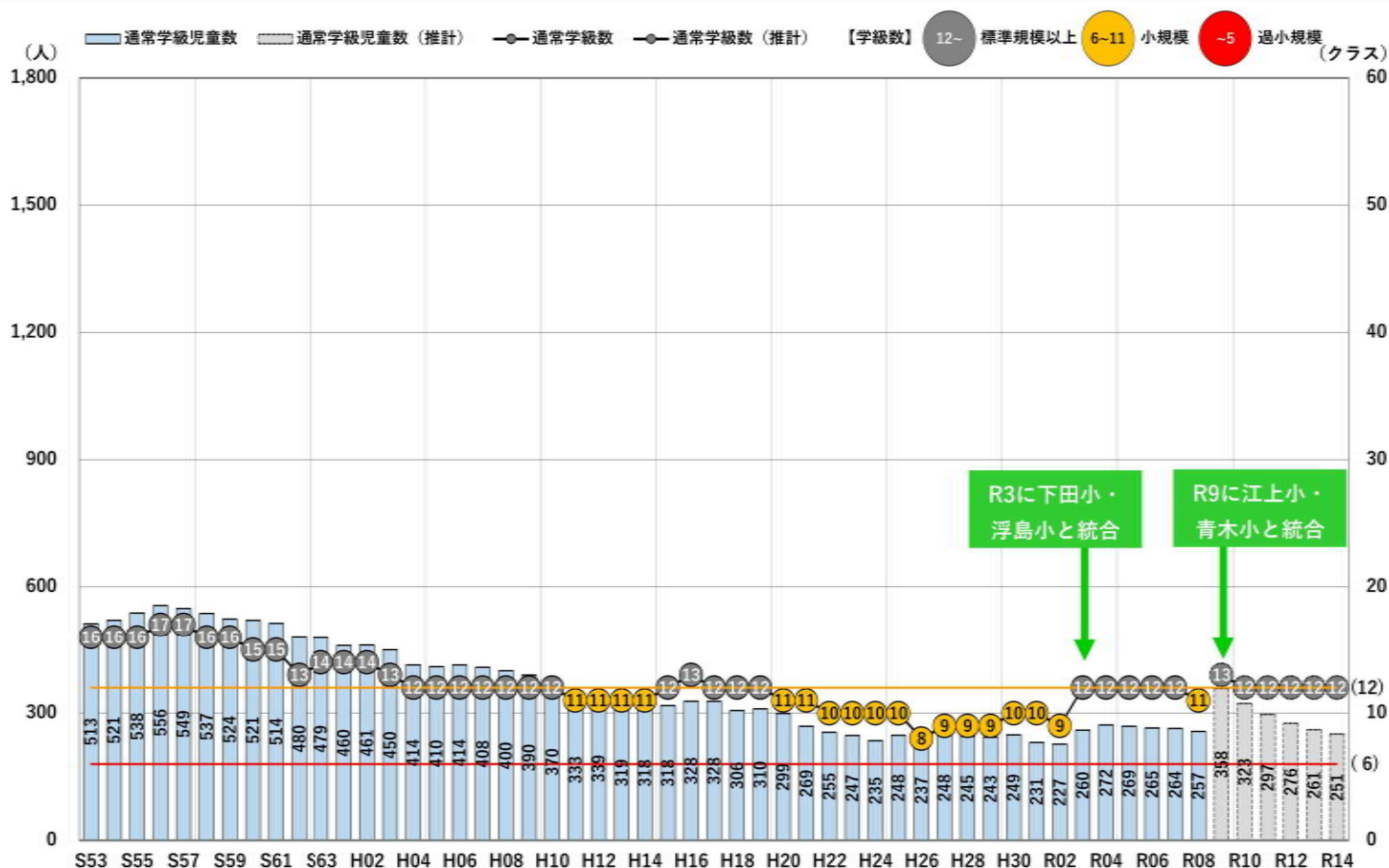
38 金島小学校

校舎最長築年数：築 58 年



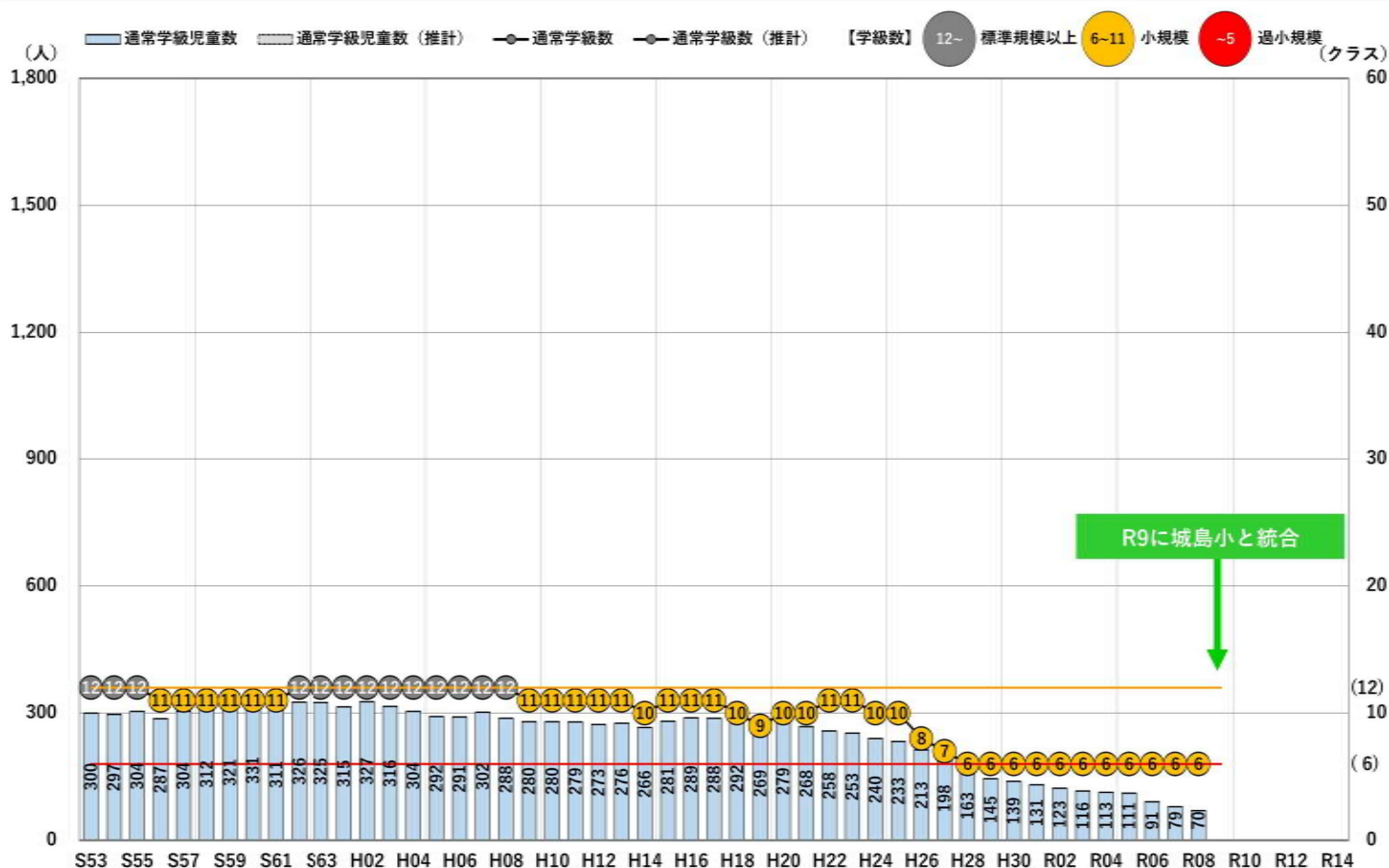
39 城島小学校

校舎最長築年数：築 55 年



41 江上小学校

校舎最長築年数：築 56 年



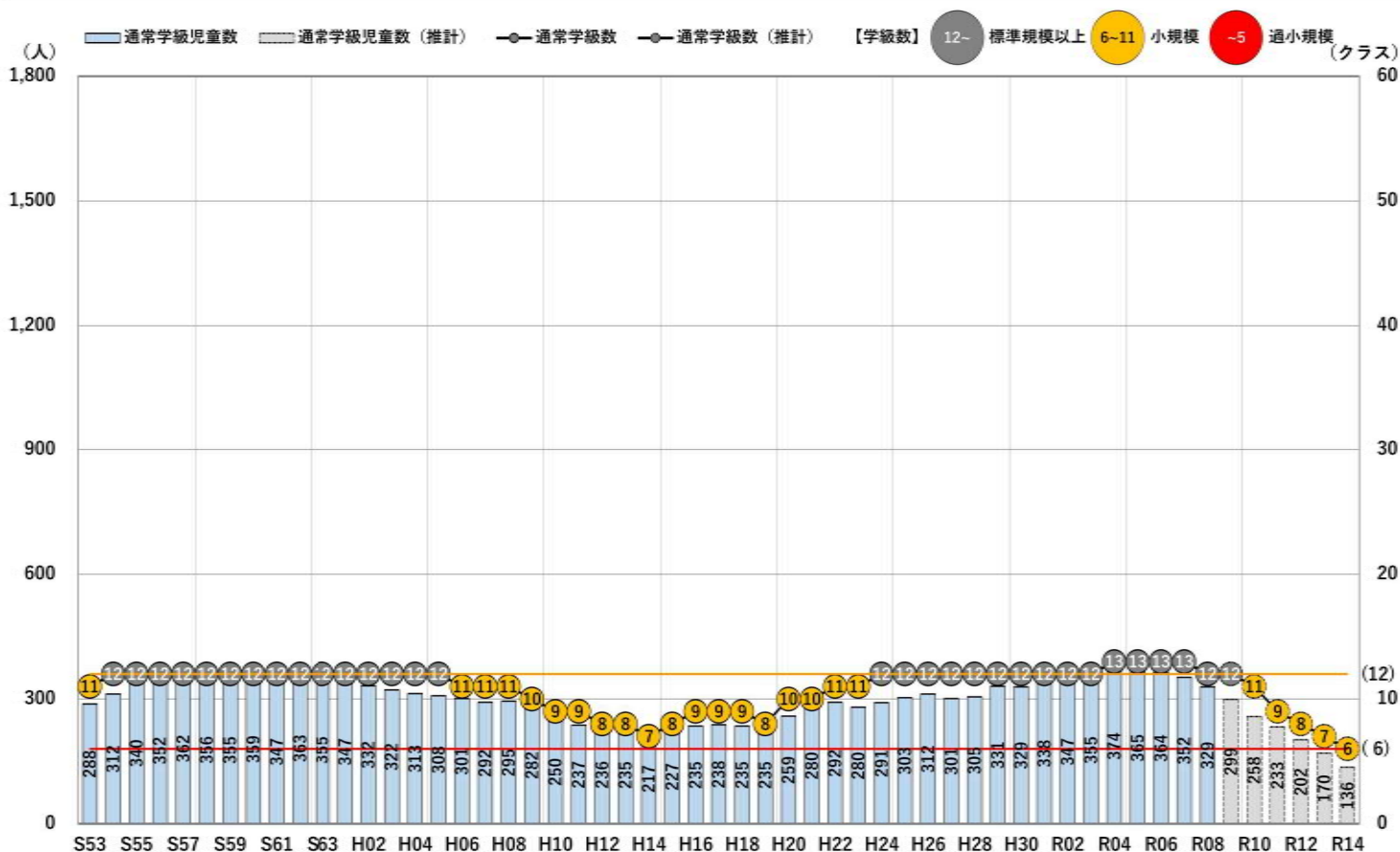
42 青木小学校

校舎最長築年数：築 49 年



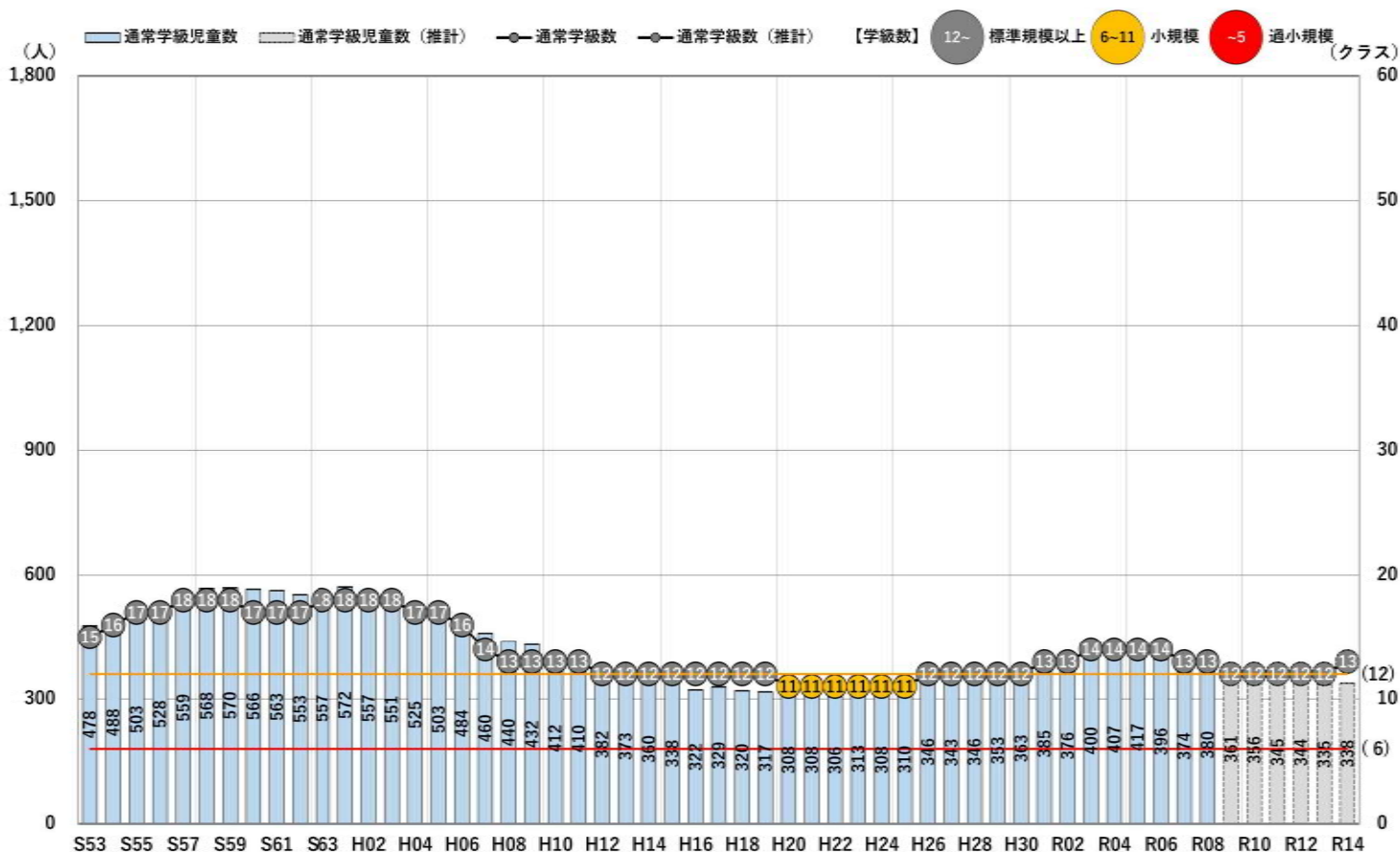
44 西牟田小学校

校舎最長築年数：築 57 年



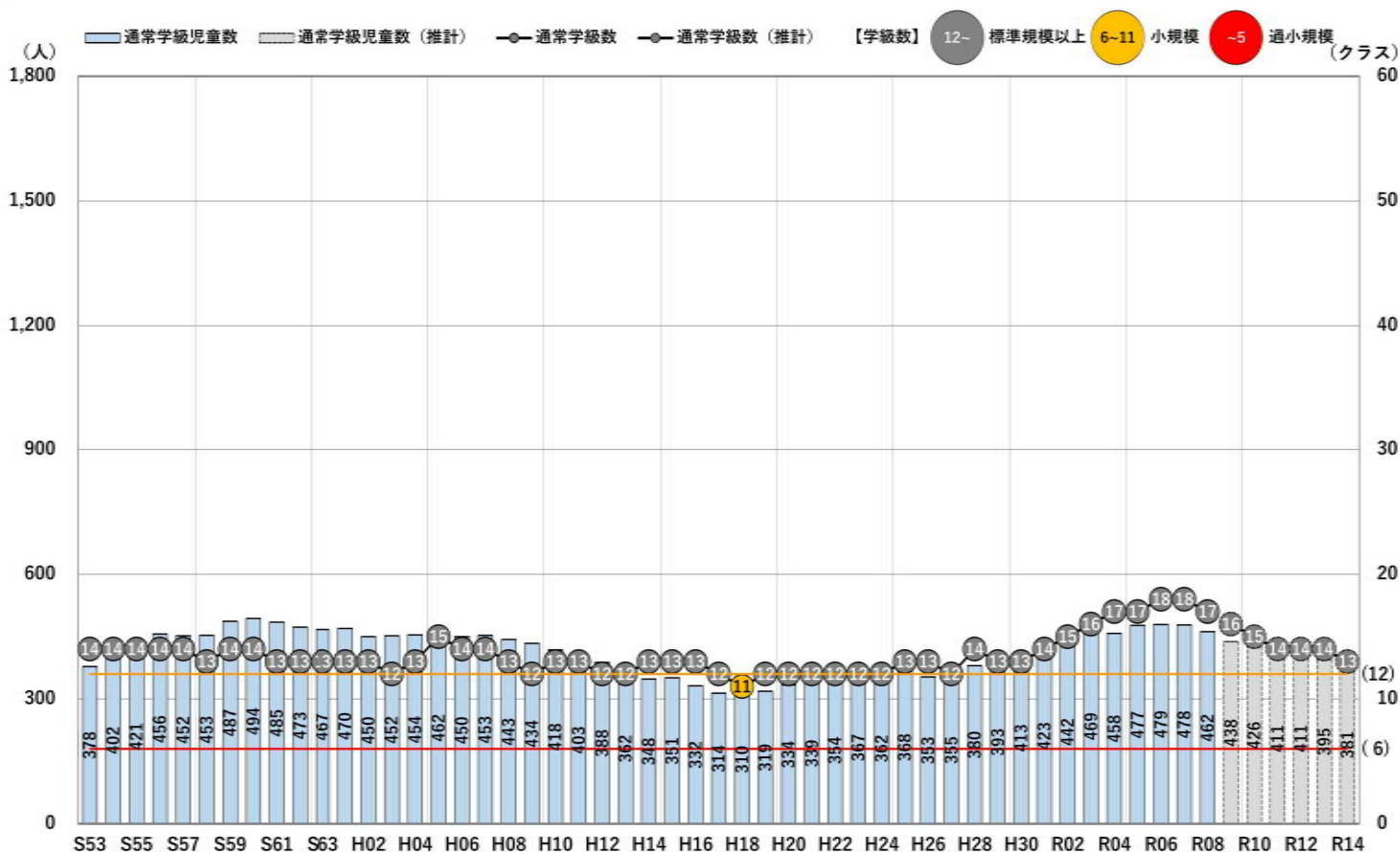
45 犬塚小学校

校舎最長築年数：築 55 年

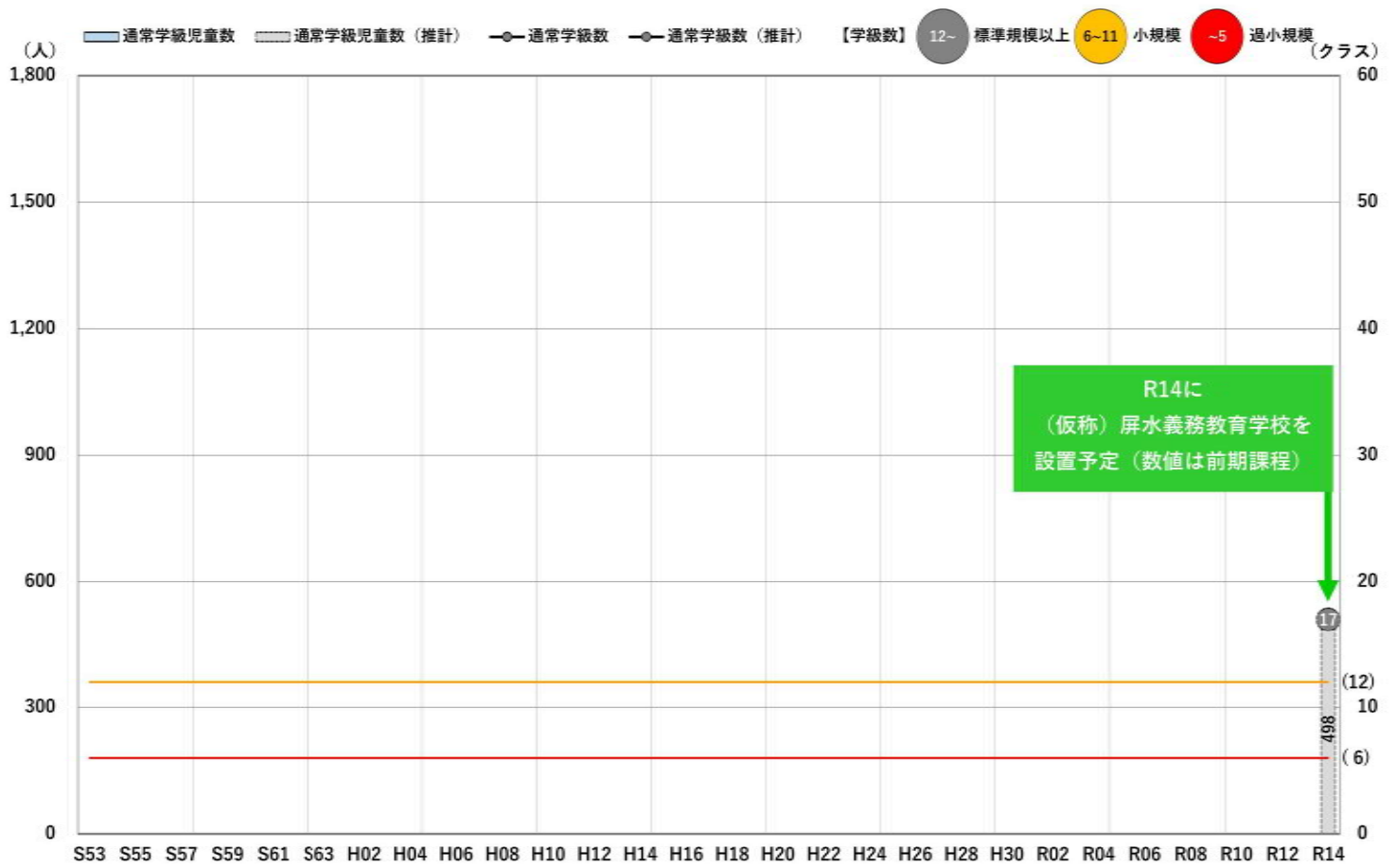


46 三瀧小学校

校舎最長築年数：築 56 年



(仮称)屏水義務教育学校



「久留米市立小学校小規模化対応方針」の概要

(H30.10月策定、R5.2月一部改訂)

1 学校規模の考え方

- 教育を充実する観点から望ましい学校規模＝1学年が複数の学級で構成される規模
- 教育課題の顕在化等を回避するために必要となる学校規模＝1学年1学級以上の規模
- ◎望ましい学校規模
＝1学年から6学年までの全ての学年が複数の学級で構成される規模
(全学年でクラス替えができる規模)

2 基本姿勢

- 小規模化対応にあたっては、「望ましい学校規模」を目指します。また、学校施設の老朽化の観点を含めて取り組みます。
- 対応の基本方策は、「学校の統合」とします。

3 検討の優先順位等

- 最優先の小規模化対応が必要と位置付ける小学校は、「既に複式学級が発生し、固定化している小学校」です。
- 次に「今後、複式学級の発生が見込まれる学校」、「望ましい学校規模を下回る学校」の順としています。
- 上記の優先順位を踏まえつつも、学校施設の老朽化により施設の更新が必要な小規模校については、優先的な対応の検討を行います。

4 統合の検討を進めるための基本的な考え方

(1) 統合校の組み合わせ

「望ましい学校規模が確保される組み合わせ」を基本に、「隣接している小学校同士の組み合わせ」や「進学先の中学校区内にある小学校同士の組み合わせ」など総合的に検討します。

(2) 基本的な進め方

- 統合基本計画案には、統合実施に至るまでの具体的な手順やスケジュールを記載します。
- 原則、準備期間として、統合の正式決定年度の翌年度（一の年度）を確保します。

5 市民との情報共有

統合を円滑に進めて行くためにも、児童生徒数の推計や学校施設の状況、統合の目的や効果などについて、広く住民と情報共有に努めます。

6 小中一貫校等の研究・検討

小学校統合の取組と合わせて、義務教育である小・中学校の教育を一貫して行う小中一貫校や義務教育学校について、研究・検討を進めます。